

令和5年度 業務実績報告書

令和6年6月

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

I 法人の概要

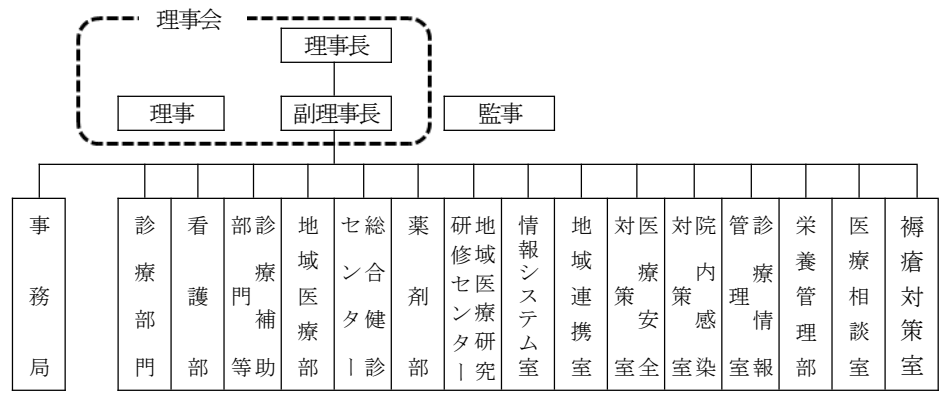
1 法人の現況

- (1) 法人名称
地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院
- (2) 所在地
岐阜県下呂市森2211
- (3) 設立年月日
平成22年4月1日

(4) 役員の状況 (令和5年4月1日現在)

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	大平 敏樹
副理事長	常勤	天岡 望
理事	常勤	金子 貢代
理事	常勤	長屋 秀樹
理事	非常勤	大塚 正義
監事	非常勤	堀 雅博
監事	非常勤	井上 学

(5) 組織図



(6) 職員数 (令和5年4月1日現在) 単位:人

職種	常勤	非常勤	計
医師	24	※ 7	31
看護師等	179	53	232
コメディカル	62	9	71
事務等	26	49	75
計	291	118	409

※医師1人を除きフルタイム勤務

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、飛騨圏域南部の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、より質の高い医療サービスを提供するため、医師等医療従事者の確保の取組、多様な契約手法の導入等、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営に努めたものの、経常収支比率100%の達成は厳しい見通しとなった。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、飛騨圏域南部の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供や地域の医療機関との連携により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

<p>(2) その他法人の特徴として記載すべき事項 平成26年5月に新築移転した新病院の機能を活用し、飛騨南部地域における中核病院として、下記の役割を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療の教育・研究（地域医療研究研修センターの機能） ・ へき地医療の提供と支援 ・ 高度急性期医療の提供 ・ 地域災害医療の提供 ・ 終末期医療（入院・在宅）の提供 ・ 医療従事者の確保 ・ 地域医療機関等との連携 <p>3 設置する病院の概要</p> <p>(1) 病院名称 岐阜県立下呂温泉病院</p> <p>(2) 所在地（平成26年5月1日から） 岐阜県下呂市森2211</p> <p>(3) 沿革 昭和28年7月1日 岐阜県立下呂病院 開設 昭和35年5月4日 名称変更「岐阜県立下呂温泉病院」 平成26年5月1日 下呂市森へ新築移転</p> <p>(4) その他(令和5年8月1日現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>主な役割 及び機能</td> <td> <input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院 </td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科</td> </tr> <tr> <td>許可病床数</td> <td>206床（一般：168床 療養：38床）</td> </tr> <tr> <td>看護体制</td> <td>7対1、10対1（地域包括ケア病棟及び回復期病棟については、13対1）</td> </tr> <tr> <td>年間延患者数 (R5実績)</td> <td> 入院 43,862人 外来 59,381人 </td> </tr> </table>	主な役割 及び機能	<input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院	診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科	許可病床数	206床（一般：168床 療養：38床）	看護体制	7対1、10対1（地域包括ケア病棟及び回復期病棟については、13対1）	年間延患者数 (R5実績)	入院 43,862人 外来 59,381人	<table border="1"> <tr> <td>建物面積</td> <td>19,594㎡</td> </tr> <tr> <td>理 念</td> <td>地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。</td> </tr> <tr> <td>基本方針</td> <td> 1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。 </td> </tr> </table>	建物面積	19,594㎡	理 念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。	基本方針	1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。
	主な役割 及び機能	<input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院															
	診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科															
許可病床数	206床（一般：168床 療養：38床）																
看護体制	7対1、10対1（地域包括ケア病棟及び回復期病棟については、13対1）																
年間延患者数 (R5実績)	入院 43,862人 外来 59,381人																
建物面積	19,594㎡																
理 念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。																
基本方針	1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。																

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

多様な手段の積極的活用による医師確保の取組により、令和5年度は常勤医として内科医1人、乳腺外科医1人、小児科医1人を確保することができたほか、引き続き、臨床研修医2人を確保することができた。また、職員の資格取得の促進・専門研修参加への支援、医療安全・院内感染防止対策の確立などにより、飛騨地域の基幹病院として、地域県民が必要とする医療の提供に努めた。

- ・急性期医療・政策医療の提供
- ・医療従事者の資質向上
- ・患者サービス、院内環境の快適性向上
- ・診療体制の充実
- ・へき地医療の拠点機能の充実

1-2 調査研究事業

調査研究の推進、診療等で得られた情報の活用や保健医療情報を発信することで、県民の健康意識向上に努めるとともに、医療情報データベースの構築に寄与した。

- ・地域施設における感染対策研修会などの開催
- ・病院ホームページ等による保健医療情報の提供
- ・院内活動に関して病院ホームページでの情報提供
- ・NCD、全国がん登録など医療情報データベースへのデータ提供

1-3 教育研修事業

令和5年度は、臨床研修医2人の採用を行った。さらに、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の臨床研修医に係る研修協力施設として、「地域医療研修（1ヶ月）」の受入れを行い、医師の養成に努めた。

さらに、下呂看護専門学校の見学や下呂市消防本部の救急救命士などの地域医療従事者の実習受入れを行い、教育・研修の充実を図った。

1-4 地域支援事業

地域医療機関や在宅医療への支援として、以下の事業に取り組み、地域支援に努めた。

- ・東白川村国保診療所等への医師の派遣による人的支援
- ・地域開業医等の当院医療機器の共同利用の推進
- ・地域施設における感染対策研修会などの開催

1-5 災害等発生時における医療救護

新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の指定を受け、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れを行うとともに、検査体制の充実、発熱外来の運営など、早期に対応できる体制を設けた。

- また、医療救護活動の拠点機能を担うため、災害発生時に備えて体制の充実、訓練を実施した。
- ・フェーズに応じた新型コロナウイルス感染症患者専用病床の確保及び他患者との接触を避けた発熱外来の設置
- ・令和2年7月の豪雨災害を受けて安否確認及び情報伝達、登院の可否を確認する初動体制訓練の実施
- ・各部門ごとにBCPに基づく机上訓練の実施によるBCPの理解の深化

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

人員の弾力的配置と地方独立行政法人のメリットを活かした人材確保により、看護体制の確保を図るとともに、業務運営の見直しや効率化・費用節減の徹底として、医療機器保守点検料の見直し（スポット契約等）を引き続き行い、収支改善に努めた。また、経営効率の高い業務執行体制の確立のため、経営情報を共有することで職員の経営意識の向上を図っている。未収金対策として、電話や臨宅による催告、分納制度を活用するなどして回収に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）

収支計画のうち収益の部については、前年度と比較して営業収益で約6億3千7百万円の減額などにより、収益の部全体で約3億8千万円、約6億4千万円の減額となった。（年度計画に対しては約4億2千1百万円の減額）

一方、費用の部については、前年度と比較して営業費用で約1億1千7百万円の増額となり、費用の部全体で約4億8千万円、約1億1千4百万円の増額となった。（年度計画に対しては約2億8千3百万円の減額）

この結果、前年度と比較して約7億5千4百万円悪化し、約1億3千万円の純損失となった。（年度計画では8億6千5百万円の純損失）

また、経常収支比率は、収支計画83.0%に対して、決算では79.1%、医業収支比率は、収支計画85.1%に対し、決算では81.1%、職員給与費対医業収益比率は、収支計画93.1%に対し、決算では109.4%と、いずれも計画を達成することができなかった。

来期以降も中期計画で定める経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下、医業収支比率100%以上を目指し、継続して経営努力を行っていく。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

就労環境の向上

職員の就労環境の向上のため、院内保育所の体制強化、人間ドック事業・定期健診の院内実施・健康管理セミナー開催などの健康管理対策を実施した。

平成27年度に締結したユニオンショップ協定を機に、労使による適正な労働環境の向上に引き続き努めた。

また、時間外勤務の事前命令・事後確認の徹底、電子カルテアクセスログ等の適正管理に加え、タイムカードやICカードにより、医師、看護師、メディカル及び事務職員に対する時間外勤務等の適正化を図った。

医療機器整備

医療機器の整備については、導入時期、費用対効果等を勘案し、計画的な整備に努めた。

法人が負担する債務の償還に関する事項

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅲ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅳ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅲ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅲ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅳ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-2 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	14	Ⅲ	
1-5-3 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	15	Ⅳ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	16	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	17	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの早期構築及び運用	18	Ⅲ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	19	Ⅲ	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	20	Ⅲ	
2-1-6 適切な情報管理	21	Ⅲ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	22	Ⅲ	
2-2-2 収入の確保	23	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	24	Ⅲ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	25	Ⅱ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の勤務環境の向上	26	Ⅲ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	27	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備	28	Ⅲ	
8-4 内部統制の充実強化	29	Ⅲ	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	Ⅲ	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
経常収益 (千円)	4,218,491	4,746,044	4,716,657	4,443,292	3,804,020
経常費用 (千円)	4,906,375	4,580,932	4,774,051	4,691,896	4,806,361
経常利益 (千円)	▲687,884	163,112	▲57,393	▲248,603	▲1,002,340
従事人員数 (人)	421	419	416	408	409

V 項目別の状況

主な指標								
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
			経常収支比率	100 %以上	86.0 %	86.0 %	103.6%	98.8%
医業収支比率	100 %以上	88.2 %	88.2 %	106.8%	101.5%	97.3%	81.1%	
職員給与費対医業収益比率	75 %以下	94.5 %	94.5 %	93.9%	106.9%	103.3%	109.4%	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期 目標	<p>1-1 診療事業 飛騨圏域南部の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、病院の特性や専門性を生かした医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、薬剤師等医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用に努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて飛騨圏域南部の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を確保するとともに、二次救急医療機関としての役割を維持すること。 特に、高齢人口が多い地域性を踏まえた予防医療の推進、回復期機能の更なる充実等により、予防から治療、在宅復帰支援までの一貫した医療を提供するとともに、へき地医療拠点病院として診療所への医療支援の充実を図ること。 予防医療については、がん検診の精度管理の向上等により総合健診センターの更なる充実を図るとともに、認知症予防対策の推進に取り組むこと。 また、医療と介護の両方を必要とする患者や終末期に自宅での療養を望む患者への対応のため関係機関との連携の推進を図るとともに、認定看護師等の活用により、在宅療養支援の充実を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																							
01	※ より質の高い医療の提供 1 医療機器の計画的な更新・整備 2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保	1 医療機器の計画的な更新・整備 ・高額の医療機器については、補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としている。 ・今年度は、へき地医療拠点病院設備整備費補助金を活用し、老朽化したMR I（磁気共鳴断層撮影装置）を更新し、診療機能の向上を図った。 更新・整備を実施した医療機器の稼働件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>整備年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡^レデシステム(上部)</td> <td>H25</td> <td>1,334</td> <td>1,209</td> <td>1,177</td> </tr> <tr> <td>X-TV 透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>395</td> <td>310</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>H25</td> <td>2,244</td> <td>1706</td> <td>1,741</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡^{システム}</td> <td>H28</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>内視鏡^レデシステム(下部)</td> <td>H29</td> <td>651</td> <td>519</td> <td>561</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ</td> <td>H30</td> <td>129</td> <td>137</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>全身用X線CT装置</td> <td>R2</td> <td>567</td> <td>647</td> <td>3,476</td> </tr> <tr> <td>回診用X線撮影装置</td> <td>R3</td> <td>204</td> <td>496</td> <td>508</td> </tr> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>R3</td> <td>2</td> <td>64</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>R5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> ※H26、27、R1 及びR4 年度は高額医療機器の整備実績なし ※回診用X線撮影装置のR3 年度稼働件数は、R3 年9 月以降の実績 ※血管撮影装置のR3 年度稼働件数は、R4 年3 月のみの実績 ※MRI (R5 年度整備) はR6 年4 月からの稼働のため、R5 年度は実績なし 2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保 ○ 医師の確保 ・前年度に引き続き臨床研修医2 人を確保することができた。 ・乳腺外科医師1 人を確保することができた。 ・内科、小児科で、各1 人を確保することができた。 ・医師募集エージェントへの登録(インターネット等の活用)は、前年度に引き続き、募集情報を登録。(9 社) ・常勤医不在の診療科(脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科)	項目／年度	整備年度	R3	R4	R5	内視鏡 ^レ デシステム(上部)	H25	1,334	1,209	1,177	X-TV 透視診断装置	H25	395	310	289	MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	2,244	1706	1,741	手術用顕微鏡 ^{システム}	H28	6	5	4	内視鏡 ^レ デシステム(下部)	H29	651	519	561	ガンマカメラ	H30	129	137	170	全身用X線CT装置	R2	567	647	3,476	回診用X線撮影装置	R3	204	496	508	血管撮影装置	R3	2	64	54	MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	R5	—	—	0		III	医師の確保(乳腺外科、内科、小児科、及び臨床研修医)、特定行為看護師資格の取得、岐阜県病院協会医学会の開催については評価できる。
項目／年度	整備年度	R3	R4	R5																																																								
内視鏡 ^レ デシステム(上部)	H25	1,334	1,209	1,177																																																								
X-TV 透視診断装置	H25	395	310	289																																																								
MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	2,244	1706	1,741																																																								
手術用顕微鏡 ^{システム}	H28	6	5	4																																																								
内視鏡 ^レ デシステム(下部)	H29	651	519	561																																																								
ガンマカメラ	H30	129	137	170																																																								
全身用X線CT装置	R2	567	647	3,476																																																								
回診用X線撮影装置	R3	204	496	508																																																								
血管撮影装置	R3	2	64	54																																																								
MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	R5	—	—	0																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																	
		<p>及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保し、地域の県民ニーズに対応した医療の推進を図った。</p> <p>診療依頼延べ件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,452</td> <td>1,497</td> <td>1,548</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護部において、ワークライフバランス（WLB）推進を継続した。年休の取得推進を図ったが、中途退職者の増、及び休業・休職者の増による職員数の減少が影響し、全看護職員の今年度の年休取得数は平均7.9日にとどまり、前年度（平均9.4日）を下回った。 ・ 看護の質の向上と時間外勤務の短縮を目的に、「PNS（パートナースHIP・ナーシング・システム）」看護体制を引き続き実施した。PNSが適切に機能しているかの観点から監査を実施し、PNSの定着を確認した。 ・ PNS看護体制の補完として、院内の部署間で相互に支援する取組みを進め、職員数の減少を補った。また、プラチナナースを各自の経験を活かすことのできる部署に配置した。 ・ WLB推進事業委員会を中心に「育児懇談会」を開催し、育児休業明けの看護師の不安軽減を図った。 ・ 法人化のメリットである弾力的な職員採用体制で、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等の確保を継続した。 ・ 再就職支援者研修を2回計画したが、応募者がなかったため実施しなかった。 <p>看護師等に係る採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	R3	R4	R5	1,452	1,497	1,548	項目/年度		R3	R4	R5	常勤	看護師	5	5	2	助産師	0	0	0	保健師	0	0	1	非常勤	(専門業務) 看護師	4	1	0	(業務補助) 看護師	0	0	0			
R3	R4	R5																																				
1,452	1,497	1,548																																				
項目/年度		R3	R4	R5																																		
常勤	看護師	5	5	2																																		
	助産師	0	0	0																																		
	保健師	0	0	1																																		
非常勤	(専門業務) 看護師	4	1	0																																		
	(業務補助) 看護師	0	0	0																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																										
	3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	<table border="1" data-bbox="582 252 1155 320"> <tr> <td>勤</td> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○ コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取り組んでいる。薬剤師の確保については、随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、欠員(2人)が充足できない状態が続いている。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。(●) <p>コメディカル(常勤)採用活動の実績 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="582 651 1070 997"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>薬剤師</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>診療放射線技師</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>医師事務作業補助者採用活動の実績 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="582 1098 1151 1198"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務) 医師事務作業補助者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p>	勤	(専門業務) 看護補助者	0	1	0		(業務補助) 看護補助者	0	0	0	項目/年度	R3	R4	R5	薬剤師	0	0	0	臨床検査技師	0	0	0	臨床工学技士	0	0	0	診療放射線技師	0	0	1	理学療法士	0	2	2	作業療法士	0	1	0	言語聴覚士	0	0	0	管理栄養士	0	0	0	社会福祉士	1	0	1	項目/年度	R3	R4	R5	(専門業務) 医師事務作業補助者	1	1	0	3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 <ul style="list-style-type: none"> 協力型臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修(1ヶ月)」について他病院の臨 		
勤	(専門業務) 看護補助者	0	1	0																																																											
	(業務補助) 看護補助者	0	0	0																																																											
項目/年度	R3	R4	R5																																																												
薬剤師	0	0	0																																																												
臨床検査技師	0	0	0																																																												
臨床工学技士	0	0	0																																																												
診療放射線技師	0	0	1																																																												
理学療法士	0	2	2																																																												
作業療法士	0	1	0																																																												
言語聴覚士	0	0	0																																																												
管理栄養士	0	0	0																																																												
社会福祉士	1	0	1																																																												
項目/年度	R3	R4	R5																																																												
(専門業務) 医師事務作業補助者	1	1	0																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
	4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進		<p>床研修医の受入れを行った。</p> <p>臨床研修医の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※歯科を含む。</p> <p>4 特定行為看護師、認定看護師等看護等の資格取得の促進</p> <p>○ 特定行為研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創傷関連 1人 修学中 <p>○ 認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症看護 1人 修了 ・ ファーストレベル 4人 修了 <p>○ その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策に関する研修 7人 ・ 医療安全管理者養成研修 2人 ・ 新生児蘇生法専門コースAコース 5人 ・ ストーマリハビリテーション研修 2人 ・ ICLS講習会 10人 (延べ) ・ 医療対話推進者養成研修 1人 ・ 糖尿病重症化予防(フットケア)研修 4人 <p>特定行為看護師数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創傷関連</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p> <p>認定看護師・認定看護管理者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R3	R4	R5	岐阜大学医学部附属病院	3	2	4	岐阜県総合医療センター	3	4	3	岐阜市民病院	6	4	8	計	12	10	15	項目／年度	R3	R4	R5	創傷関連	0	0	1	項目／年度	R3	R4	R5	皮膚排泄ケア	2	2	2	感染管理	2	2	2	脳卒中リハビリテーション	1	1	1	緩和ケア	1	1	1		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
岐阜大学医学部附属病院	3	2	4																																																		
岐阜県総合医療センター	3	4	3																																																		
岐阜市民病院	6	4	8																																																		
計	12	10	15																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
創傷関連	0	0	1																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
皮膚排泄ケア	2	2	2																																																		
感染管理	2	2	2																																																		
脳卒中リハビリテーション	1	1	1																																																		
緩和ケア	1	1	1																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
	<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p>		<table border="1" data-bbox="1238 252 1731 392"> <tr> <td>摂食・嚥下</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>※各年度末時点</p> <p>○ eラーニングによる研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集合研修 21 回 ・ 推奨研修 8 講義 ・ 推奨研修受講率 98.9% <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。 <p>コメディカルの研修会・学会参加人数 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1245 794 1738 1078"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション技師</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>18</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各部署から業務改善計画書の提出（計25事例）があった。 ・ 類似のインシデントが発生した場合、業務改善策を評価し直し、再度実施するPDCAサイクルを回すことで更なる業務改善に繋げた。 ・ 重大なインシデント分析をするにあたっては、多職種連携を図り、専門的な視点から分析を行い、より安全なチーム医療を推し進めた。 	摂食・嚥下	1	1	0	認知症看護	—	—	1	認定看護管理者	—	—	1	計	7	7	8	項目／年度	R3	R4	R5	薬剤師	3	1	2	臨床検査技師	0	0	9	臨床工学技士	0	1	1	診療放射線技師	0	5	5	リハビリテーション技師	7	8	4	管理栄養士	3	3	3	計	13	18	24		
摂食・嚥下	1	1	0																																																		
認知症看護	—	—	1																																																		
認定看護管理者	—	—	1																																																		
計	7	7	8																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
薬剤師	3	1	2																																																		
臨床検査技師	0	0	9																																																		
臨床工学技士	0	1	1																																																		
診療放射線技師	0	5	5																																																		
リハビリテーション技師	7	8	4																																																		
管理栄養士	3	3	3																																																		
計	13	18	24																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																												
	<p>7 ICT (情報通信技術) やAI (人工知能) 等の活用</p> <p>8 入退院支援の充実</p>		<p>委員会等実施件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1249 284 1776 660"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全管理委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策室会議</td> <td>58</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>看護事故防止委員会</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>院内感染防止対策委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>感染対策室会議</td> <td>51</td> <td>31</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>新型コロナ対応連絡会議 (感染対策室+関係部署)</td> <td>51</td> <td>50</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R3 年度、R4 年度の一部は書面開催</p> <p>7 ICT (情報通信技術) やAI (人工知能) 等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療の効率化、医療従事者の負担軽減につながる ICT や AI 等の活用について情報収集を行った。 今年度は、ネットワーク環境更新にて、患者向け無料Wi-Fi を構築し、サービス向上を図った。 <p>8 入退院支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護支援連携及び共同指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> 急性期病棟において、本人・家族、在宅関係職種 (在宅担当医、訪問看護師、ケアマネジャー、サービス事業所)、施設担当者、担当看護師、退院調整看護師が円滑な在宅療養移行に向けた会議を行った。今後も医療・介護の連携強化を推進していく。 <p>連携機関とのカンファレンス件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1249 1241 1722 1347"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援連携</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>共同指導</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 入院時支援への取組</p>	項目/年度	R3	R4	R5	医療安全管理委員会	12	12	12	医療安全対策室会議	58	12	12	看護事故防止委員会	12	11	12	院内感染防止対策委員会	12	12	12	感染対策室会議	51	31	38	新型コロナ対応連絡会議 (感染対策室+関係部署)	51	50	20	褥瘡対策委員会	12	12	12	項目/年度	R3	R4	R5	介護支援連携	14	10	18	共同指導	6	3	11		
項目/年度	R3	R4	R5																																														
医療安全管理委員会	12	12	12																																														
医療安全対策室会議	58	12	12																																														
看護事故防止委員会	12	11	12																																														
院内感染防止対策委員会	12	12	12																																														
感染対策室会議	51	31	38																																														
新型コロナ対応連絡会議 (感染対策室+関係部署)	51	50	20																																														
褥瘡対策委員会	12	12	12																																														
項目/年度	R3	R4	R5																																														
介護支援連携	14	10	18																																														
共同指導	6	3	11																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
	<p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p>	<p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント報告様式(MyWeb)を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめと、インシデントレベル3a及び3b以上(事故報告書)について各会議にて分析・検討し、対策立案を行った。また、分析結果及び改善方策について、「医療安全対策室たより」を18回発行し、情報の共有化を図った。 医療安全対策地域連携加算1の算定に伴い、平成30年度から病院間で連携し、相互チェックを行っている。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のため、病院訪問でのチェックは中止した。1月に自己評価を行い、2月19日開催のWeb会議で確認した。 今年度のアクシデントは8件で、前年度と比較して入院延べ人数に対する発生率は低下した。 アクシデント事例はすべてRCA分析を実施、事例の発生要因を共有した。インシデント報告は集計・分析し、転倒の発生しやすい状況についての情報提供や、センサーベッドの使用法の研修、センサー入れ忘れ対策の実施状況の確認などを行った。結果は「医療安全対策室たより」にて報告し、啓蒙した。 <p>インシデント・アクシデント件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="566 1193 1122 1334"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,313</td> <td>1,229</td> <td>1223</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,321</td> <td>1,238</td> <td>1231</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内掲示板「MyWeb」やeラーニングを活用した全職員研修 	項目/年度	R3	R4	R5	インシデント	1,313	1,229	1223	アクシデント	8	9	8	計	1,321	1,238	1231	<ul style="list-style-type: none"> 入院時支援加算にはつながらなかったが、支援体制を継続している。 <p>入院時支援実施件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1243 384 1722 453"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援実施件数</td> <td>226</td> <td>241</td> <td>268</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	支援実施件数	226	241	268		
項目/年度	R3	R4	R5																										
インシデント	1,313	1,229	1223																										
アクシデント	8	9	8																										
計	1,321	1,238	1231																										
項目/年度	R3	R4	R5																										
支援実施件数	226	241	268																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																		
10	院内感染防止対策の充実	<p>を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全推進大会では、各部署の業務改善を作成し、院内掲示板「MyWeb」を活用し、全職員が閲覧できる方法で行った。各部署の取組がよく分かるといった意見が多くあり、インシデントや改善策を周知する良い機会となった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目／年度</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2</td> <td>820</td> <td>2</td> <td>758</td> <td>2</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>医療機器学習会</td> <td>7</td> <td>53</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>薬剤学習会</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>検査学習会</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>臨時研修会</td> <td>1</td> <td>29</td> <td>5</td> <td>47</td> <td>2</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>新人研修</td> <td>9</td> <td>99</td> <td>10</td> <td>64</td> <td>8</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 全室個室と病棟構造を活かしたゾーニングを設定し、岐阜県のフェーズ設定に応じて新型コロナウイルス感染症患者受入専用病棟を設置（最大62床、5類感染症移行後は最大20床）し、患者の受入れを行った。 <p>新型コロナウイルス感染症患者受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226</td> <td>338</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288</td> <td>626</td> <td>760</td> </tr> </tbody> </table> <p>※累計患者数は、受入開始（R2年度）以後の累計患者数 ※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症クラスターの院内発生に対して、原因を状況判断し、感染拡大防止策を講じた。 院内感染防止マニュアルの改訂及び感染管理教育を行った。 <p>【改訂マニュアル】 COVID-19 感染対策マニュアル、感染症法に基づく医師の届出マニュアル、標準予防策と感染経路別予防策マニュアル、感染対策チェック表疾患追加、使用後器具の処理マニュアル</p>	項目／年度	R3		R4		R5		回数	人数	回数	人数	回数	人数	医療安全全職員研修会	2	820	2	758	2	776	医療機器学習会	7	53	2	14	-	-	薬剤学習会	1	16	1	16	1	316	検査学習会	-	-	-	-	2	559	臨時研修会	1	29	5	47	2	44	新人研修	9	99	10	64	8	74	項目／年度	R3	R4	R5	受入患者数	226	338	134	累計患者数	288	626	760		
項目／年度	R3			R4		R5																																																																	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																																	
医療安全全職員研修会	2	820	2	758	2	776																																																																	
医療機器学習会	7	53	2	14	-	-																																																																	
薬剤学習会	1	16	1	16	1	316																																																																	
検査学習会	-	-	-	-	2	559																																																																	
臨時研修会	1	29	5	47	2	44																																																																	
新人研修	9	99	10	64	8	74																																																																	
項目／年度	R3	R4	R5																																																																				
受入患者数	226	338	134																																																																				
累計患者数	288	626	760																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由											
		<p>感染管理教育の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="568 284 712 316">項目/年度</th> <th data-bbox="712 284 943 316">R4</th> <th data-bbox="943 284 1160 316">R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="568 320 712 539">新入転入職員研修</td> <td data-bbox="712 320 943 539">3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員 (COVID-19 対策・標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策)</td> <td data-bbox="943 320 1160 539">3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員 (標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 544 712 667">東5階病棟専用病棟開設前研修</td> <td data-bbox="712 544 943 667">—</td> <td data-bbox="943 544 1160 667">東5階病棟リンクスによる部署内研修会 (COVID-19 対応)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 671 712 1425">全体研修会 (感染症対策室主催)</td> <td data-bbox="712 671 943 1425"> <p>「新型コロナで変わった・再認識した感染対策の課題」 研修参加291人 個別Web視聴101名</p> <p>「COVID-19の流行状況、臨床像、ワクチン」 研修会参加206人 個別Web視聴192人</p> <p>「細菌培養検査の採取方法」院内グループウェア配信</p> <p>「急性気道感染症の抗菌薬適正使用」 COVID-19情報 ミニクチャー</p> </td> <td data-bbox="943 671 1160 1425"> <p>感染対策研修会1 「感染症法について～コロナは5類感染症って?!」 個別視聴374人(参加率99.2%)</p> <p>感染対策研修会2 「厚生労働省令和5年度院内感染対策講習会【新型コロナウイルス感染症・新興感染症に関する特別講習会】WEB受講」 研修参加122人 個別視聴・資料閲覧276人 (参加率100%)</p> <p>コメディカル対象の抗菌薬適正使用研修会 1「細菌培養検査の採取方法」</p> </td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	新入転入職員研修	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員 (COVID-19 対策・標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策)	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員 (標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策)	東5階病棟専用病棟開設前研修	—	東5階病棟リンクスによる部署内研修会 (COVID-19 対応)	全体研修会 (感染症対策室主催)	<p>「新型コロナで変わった・再認識した感染対策の課題」 研修参加291人 個別Web視聴101名</p> <p>「COVID-19の流行状況、臨床像、ワクチン」 研修会参加206人 個別Web視聴192人</p> <p>「細菌培養検査の採取方法」院内グループウェア配信</p> <p>「急性気道感染症の抗菌薬適正使用」 COVID-19情報 ミニクチャー</p>	<p>感染対策研修会1 「感染症法について～コロナは5類感染症って?!」 個別視聴374人(参加率99.2%)</p> <p>感染対策研修会2 「厚生労働省令和5年度院内感染対策講習会【新型コロナウイルス感染症・新興感染症に関する特別講習会】WEB受講」 研修参加122人 個別視聴・資料閲覧276人 (参加率100%)</p> <p>コメディカル対象の抗菌薬適正使用研修会 1「細菌培養検査の採取方法」</p>		
項目/年度	R4	R5														
新入転入職員研修	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員 (COVID-19 対策・標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策)	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員 (標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策)														
東5階病棟専用病棟開設前研修	—	東5階病棟リンクスによる部署内研修会 (COVID-19 対応)														
全体研修会 (感染症対策室主催)	<p>「新型コロナで変わった・再認識した感染対策の課題」 研修参加291人 個別Web視聴101名</p> <p>「COVID-19の流行状況、臨床像、ワクチン」 研修会参加206人 個別Web視聴192人</p> <p>「細菌培養検査の採取方法」院内グループウェア配信</p> <p>「急性気道感染症の抗菌薬適正使用」 COVID-19情報 ミニクチャー</p>	<p>感染対策研修会1 「感染症法について～コロナは5類感染症って?!」 個別視聴374人(参加率99.2%)</p> <p>感染対策研修会2 「厚生労働省令和5年度院内感染対策講習会【新型コロナウイルス感染症・新興感染症に関する特別講習会】WEB受講」 研修参加122人 個別視聴・資料閲覧276人 (参加率100%)</p> <p>コメディカル対象の抗菌薬適正使用研修会 1「細菌培養検査の採取方法」</p>														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況		その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由	
				2「術後感染予防抗菌薬適正使用マニュアルの紹介」			
		グループウェアを利用した情報発信	COVID-19 情報 ミレクチャー	COVID-19 情報 ミレクチャー (SFTS、麻疹)			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンドにより、感染対策環境、感染対策実施状況の定期的な点検を行った。 【外来部門】 室内清掃、整理整頓、手洗い設備管理、個人防護具設置、アルコール手指消毒剤管理、感染性廃棄物管理状況 【病棟】 入院患者の感染症情報周知、汚物処理室管理、点滴作業台環境、感染性廃棄物管理、薬剤保冷庫環境、使用器材管理状況 ・ MRSA・CD感染症、COVID-19等の病院内外の感染症流行を受けて、情報共有と院内体制を確認した。 ・ 抗菌薬適正使用支援チームカンファレンスによる事例検討、及び病院内外への抗菌薬教育により、抗菌薬適正使用に取り組んだ。(国のAMR(薬剤耐性菌)アクションプランに参画) ・ 手指衛生直接観察の実施、手指消毒自動ディスペンサー増設、個人携帯の推進、手指消毒剤使用量モニタリングにより、手指衛生を強化した。 <p>11 岐阜県病院協会医学会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県病院協会会員病院の医療従事者等が一堂に会する「岐阜県病院協会医学会」を10月29日に下呂交流会館(下呂市森)で開催、県内病院から計859人が参加した。特別講演を行うとともに、計229演題の発表により活発な情報交換と交流を深めることができた。 【特別講演】 —2040年の医療提供体制に向けて— 「岐阜県の地域医療構想のCOVID-19前後での検証」 「多死社会を迎え今後の緩和医療、ACPを考える」 					

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間の改善等	<p>1 待ち時間の改善等</p> <p>○ 待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に看護師が患者の様子を気にかけて、声かけを行っている。 緊急患者のため診療時間が遅れそうなときは必ず声かけを行い、患者の不安軽減に努めている。 診察の遅れについては、診察の進行状況に係る情報を提供している。 看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と、患者への積極的な声かけを推進。 椅子の配置を検討し、プライバシーが保たれることのできる空間づくりに努めている。 小児科外来における図書コーナーは、新型コロナウイルス感染症対策のため撤去している。今後、感染症対策を踏まえ、再開時期を検討する。 初診の混雑時は一旦病院外へ出てもよいことを説明するなど、待ち時間の過ごし方を検討。 <p>○ 外来診療待ち時間調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から患者アンケートの中で待ち時間調査を実施し、継続して対策に取り組んでいる。 <p>①「本日の各ブロック受付後、診察までの待ち時間は何分程度だったか」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～30分</td> <td>17</td> <td>40%</td> <td>214</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>12</td> <td>29%</td> <td>132</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>8</td> <td>19%</td> <td>26</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5</td> <td>12%</td> <td>31</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>②「待ち時間について職員から声かけがあったか」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">声かけ</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あった</td> <td>32</td> <td>76%</td> <td>248</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>なかった</td> <td>5</td> <td>12%</td> <td>86</td> <td>21%</td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間	R4		R5		人数	割合	人数	割合	1～30分	17	40%	214	53%	31～60分	12	29%	132	33%	61分以上	8	19%	26	6%	無回答	5	12%	31	8%	声かけ	R4		R5		人数	割合	人数	割合	あった	32	76%	248	62%	なかった	5	12%	86	21%		IV	職員による巡視や声かけ等待ち時間短縮の継続的な取組に加え、患者用Wi-Fiの整備、プライバシーを尊重した相談体制等、項目全体で特に進捗していると評価。
待ち時間	R4			R5																																																	
	人数	割合	人数	割合																																																	
1～30分	17	40%	214	53%																																																	
31～60分	12	29%	132	33%																																																	
61分以上	8	19%	26	6%																																																	
無回答	5	12%	31	8%																																																	
声かけ	R4		R5																																																		
	人数	割合	人数	割合																																																	
あった	32	76%	248	62%																																																	
なかった	5	12%	86	21%																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																			
		<table border="1"> <tr> <td>無回答</td> <td>5</td> <td>12%</td> <td>68</td> <td>17%</td> </tr> </table> <p>※待ち時間が1時間を超えたとの回答が6%、職員の声掛けがなかったという回答が21%という結果であり、継続して対策を検討するとともに声かけを実施していく。</p>	無回答	5	12%	68	17%																	
無回答	5	12%	68	17%																				
	2 院内環境の快適性の向上	<p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者サービス向上委員会では、ご意見箱に投函された意見等を院内の掲示板でフィードバックしている。今年度は、以前より要望のあった患者向け無料Wi-Fiを構築し、サービス向上を図った。そのほか、院内環境改善について要望等を検討し、改善に努めた。 患者サービス向上委員会が主体となり、院内及び病院周辺の清掃を行った。 <p>【1回目】 6月7日 17:00~17:30 参加人数86人</p> <p>【2回目】 9月13日 16:30~17:20 参加人数74人 (病院職員63人、ライオンズクラブ11人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内ラウンドを4回実施し、院内環境のチェックを行った。 <p>【主な改善事項】 掲示物の点検、物品の整理整頓、ゴミ拾い、危険物の撤去等 <ul style="list-style-type: none"> 正面玄関に季節の飾り物を設置し、癒しの空間作りに努めた。 (端午の節句、七夕、月見、ハロウィン、クリスマス、正月、節分、桃の節句) 個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について、栄養管理指導を行った。入院患者へ食事内容についての理解を促すと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事を提供した。 <p>栄養管理計画書作成件数・個別指導件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">計画書作成件数</td> <td>938</td> <td>897</td> <td>1,041</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別指導</td> <td>入院</td> <td>172</td> <td>194</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>205</td> <td>111</td> <td>222</td> </tr> </tbody> </table> </p>	項目/年度		R3	R4	R5	計画書作成件数		938	897	1,041	個別指導	入院	172	194	145	外来	205	111	222			
項目/年度		R3	R4	R5																				
計画書作成件数		938	897	1,041																				
個別指導	入院	172	194	145																				
	外来	205	111	222																				
	3 医療に関する相談体制の充実	3 医療に関する相談体制の充実																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
	4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療相談室について、医療相談カンファレンスを毎週開催し、職員間で情報の共有を図るとともに、月1回医療相談室会議を開催し、兼務職員を含めた全員での情報共有を行った。 ・ 医療安全対策部門や患者サービス向上部門とも連携し、患者やその家族からの医療等に関する相談・苦情や入退院にかかる相談業務に対応した。 ・ 問題事象への発展が懸念されるものは、情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。 ・ 相談等については、面談中のプライバシーを尊重するなど、個人情報取り扱いに十分注意し、患者が安心して相談できるよう努めた。 	<p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <p>○ カルテ等の医療情報開示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カルテ等の医療情報開示は、診療情報の提供に関する指針等に基づき対応した。 <p>カルテ開示請求件数・開示件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1234 871 1693 975"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※行政・裁判関連の照会を除く</p> <p>○ 接遇意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇マナーの啓発活動の一環として、啓発ポスター（患者、家族、訪問者の前での同僚の呼び方について）を作成し掲示した。また、令和5年9月に接遇マナーチェックを実施した。委託職員を含む440人に配布、94.5%の回収率であった。 <p>マナーチェック結果 単位：％</p> <table border="1" data-bbox="1211 1283 1785 1414"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>96.1</td> <td>95.8</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>96.5</td> <td>97.0</td> <td>96.3</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>92.3</td> <td>91.3</td> <td>91.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「概ねできている」以上の回答割合</p>	項目／年度	R3	R4	R5	請求件数	11	11	9	開示件数	11	10	7	項目／年度	R3	R4	R5	態度・表情等	96.1	95.8	96.3	身だしなみ	96.5	97.0	96.3	電話対応	92.3	91.3	91.8		
項目／年度	R3	R4	R5																														
請求件数	11	11	9																														
開示件数	11	10	7																														
項目／年度	R3	R4	R5																														
態度・表情等	96.1	95.8	96.3																														
身だしなみ	96.5	97.0	96.3																														
電話対応	92.3	91.3	91.8																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
5	インフォームド・コンセントの 徹底及びセカンドオピニオンの 推進		<p>※設問毎の平均割合</p> <p>○ ピンクリボンキャンペーン（乳がん検診の早期受診推進運動）への賛同</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳がん検診の啓発活動の一環として、問診時に検診受診歴のない方に受診勧奨を積極的に行い、受診者数の増加に努めた。今後も啓発活動を継続して取り組んでいく。 <p>乳がん検診受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1, 219</td> <td>1, 197</td> <td>1, 362</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 退院時アンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月に退院患者147人を対象に退院時アンケート調査を実施。76人から回答を得た。（回収率51.7%） 前年度までの患者満足度調査から、「患者経験価値調査」（日本ペイシェントエクスペリエンス研究会）に内容を変更して実施。WEB回答（Googleフォーム）を導入し、回答方法の選択肢も増やしたが、設問数が多く、設問内容も詳細になった影響で、前年度より回収率が低下した。今後は設問を吟味し、より効果的な調査・分析が行えるよう検討する。アンケート結果は概ね良い評価であった。 <p>5 インフォームド・コンセントの徹底及びセカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及びその家族には、入院時の入院治療計画の提示や、手術・検査の事前説明を行い、且つ規程に基づく同意を得たうえで治療に取り組むなど、インフォームド・コンセントを徹底した。 セカンドオピニオン外来は標榜していないが、一般外来として患者を受け入れている。 <p>セカンドオピニオン実施及び紹介件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	R3	R4	R5	1, 219	1, 197	1, 362	項目／年度	R3	R4	R5	外来受入	0	0	0	他院紹介	1	0	1		
R3	R4	R5																					
1, 219	1, 197	1, 362																					
項目／年度	R3	R4	R5																				
外来受入	0	0	0																				
他院紹介	1	0	1																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映		<p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種アンケートの実施など様々な機会を捉え、患者等から意見を聴取し、これを基に対応策を講じた。 <p>○ 退院時アンケート調査の実施【No.2 再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月に退院患者147人を対象に退院時アンケート調査を実施。76人から回答を得た。(回収率51.7%) ・ 前年度までの患者満足度調査から、「患者経験価値調査」(日本ペイシエントエクスペリエンス研究会)に内容を変更して実施。WEB回答(Googleフォーム)を導入し、回答方法の選択肢も増やしたが、設問数が多く、設問内容も詳細になった影響で、前年度より回収率が低下した。今後は設問を吟味し、より効果的な調査・分析が行えるよう検討する。アンケート結果は概ね良い評価であった。 <p>○ 「ご意見箱」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。 ・ 御礼、感謝：4件、苦情：9件、要望：5件(計18件)が投函された。意見箱の設置場所を増設し、前年度(計13件)より投函数が増加した。いただいた意見、要望に真摯に対応し、今後も継続してサービス向上に努める。 <p>○ 地域住民との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談を行い、地域の人々との交流に努めている。今年度はコロナ禍での制限も緩和したため、受診者とその家族、職員対象に「看護の日イベント」として血圧、体脂肪、骨強度、血管年齢の測定と健康相談を行った。47人の参加があり、アンケート結果も好評であった。(10月6日 9:30~12:00実施) ・ 下呂温泉祭り行事に、救護班として3日間計6人の職員が参加した。(8月1日、2日、3日参加) ・ 地域の代表者等を構成員とする「下呂温泉病院運営協議会」を開催し、病院の財務状況や経営強化プランについて説明し、病院の今後のあり方等について意見交換を行っ 		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
			た。(12月8日開催) ○ 病院ホームページの逐次更新 ・ ホームページを逐次更新し、利用者の利便性の向上を図った。																																						
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に 即した診療体制の整備・充実		1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな対応に努めた。 ・ 外来や救急外来での外国人患者に対応するため、前年度に引き続き通訳用専用端末「ポケトーク」を活用し、円滑な診療体制の維持に努めた。 ・ 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、引き続き午後5時以降の夜間透析や小児リハビリテーション、手外科リハビリテーションに取り組んだ。 ・ 心臓リハビリテーションの機器を整備し、今年度から開設、運用を開始した。 ・ 嚥下造影検査(VF)・嚥下内視鏡検査(VE)を活用し、摂食嚥下機能評価を実施した。 リハビリテーション患者実数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小児ハビリ</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>手外科ハビリ</td> <td>22</td> <td>35</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>心臓ハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> 摂食嚥下機能評価件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造影検査(VF)</td> <td>75</td> <td>38</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>嚥下内視鏡検査(VE)</td> <td>75</td> <td>50</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>摂食嚥下機能評価入院</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R3	R4	R5	夜間透析	4	4	5	小児ハビリ	67	67	64	手外科ハビリ	22	35	57	心臓ハビリ	—	—	21	項目／年度	R3	R4	R5	造影検査(VF)	75	38	45	嚥下内視鏡検査(VE)	75	50	55	摂食嚥下機能評価入院	1	1	0	III	心臓リハビリテーション開設は評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。
項目／年度	R3	R4	R5																																						
夜間透析	4	4	5																																						
小児ハビリ	67	67	64																																						
手外科ハビリ	22	35	57																																						
心臓ハビリ	—	—	21																																						
項目／年度	R3	R4	R5																																						
造影検査(VF)	75	38	45																																						
嚥下内視鏡検査(VE)	75	50	55																																						
摂食嚥下機能評価入院	1	1	0																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																							
	2 多様な専門職の積極的な活用		2 多様な専門職の積極的な活用 ・ 高度な専門性を有する医師について、年俸制を活用し、引き続き登用した。 ・ 今度末に定年を迎えた看護師及びコメディカルについて、その専門性を考慮し、定年延長（再雇用）を行った。																																									
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 ・ 近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と当院の役割分担（病診連携）に努めた。 紹介率・逆紹介の状況 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">医 科</td> <td>紹介率 (%)</td> <td>37.3</td> <td>35.2</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>2,215</td> <td>2,206</td> <td>2,163</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>63.9</td> <td>40.2</td> <td>60.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>4,603</td> <td>3,330</td> <td>3,891</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">歯 科</td> <td>紹介率 (%)</td> <td>43.0</td> <td>42.6</td> <td>54.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>321</td> <td>290</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>26.1</td> <td>21.4</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>195</td> <td>146</td> <td>203</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	R3	R4	R5	医 科	紹介率 (%)	37.3	35.2	38.1	紹介実施件数	2,215	2,206	2,163	逆紹介率 (%)	63.9	40.2	60.3	逆紹介実施件数	4,603	3,330	3,891	歯 科	紹介率 (%)	43.0	42.6	54.3	紹介実施件数	321	290	338	逆紹介率 (%)	26.1	21.4	32.5	逆紹介実施件数	195	146	203		III	近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と当院の役割分担に努めている点については評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。
	項目／年度	R3	R4	R5																																								
医 科	紹介率 (%)	37.3	35.2	38.1																																								
	紹介実施件数	2,215	2,206	2,163																																								
	逆紹介率 (%)	63.9	40.2	60.3																																								
	逆紹介実施件数	4,603	3,330	3,891																																								
歯 科	紹介率 (%)	43.0	42.6	54.3																																								
	紹介実施件数	321	290	338																																								
	逆紹介率 (%)	26.1	21.4	32.5																																								
	逆紹介実施件数	195	146	203																																								
		○ 下呂市立金山病院及び小坂診療所との連携 ・ 下呂市立金山病院からの手術依頼を受けて、医師を派遣するなどの連携体制を整えているが、今度は実績がなかった。 【外科医】 外来診療（派遣回数0回） 【整形外科医】 手術（派遣回数0回） ○ 新型コロナウイルス感染症診療に関する訪問指導 ・ 院内感染対策向上加算算定連携施設である下呂市立金山病院に対して、訪問指導を4回行った。 （7月4日、9月5日、11月7日、2月6日） ・ 下呂市立小坂診療所に対して、訪問指導を1回行った。 （11月29日）																																										

項目No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
	2 地域連携クリニカルパスの整備普及		<p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 当院は、計画管理病院の転院先となる「回復リハビリテーション病院」の一つであるが、東濃地域脳卒中地域連携パスは拠点病院からの依頼がなく、また、東濃地域での回復リハビリテーション病床が充実したこともあるため、依頼があれば対応可能な状況を確認している状況である。 飛騨地域がん地域連携クリニカルパスにおいても、依頼があれば対応可能な状況は確保している。患者受入れは可能であるため、今後も東濃地区や飛騨地域の各診療拠点病院との連携に努める。 <p>地域連携クリニカルパス対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東濃地域脳卒中地域連携パス</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飛騨地域がん地域連携クリニカルパス</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ CKD（慢性腎臓病）予防に取り組む連携パスの普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 当院のCKD患者の中には、末期腎不全に近い状態で来院される方や、厳密な食事管理や生活管理が困難な方もおり、連携パスに取り組めないケースが多い。CKD手帳を持参されないケースも多く、人員不足もあってCKD手帳の普及が進まず、現在は電子カルテに記載し継続看護、連携できるよう取り組んでいる。かかりつけ医への連携については診療情報提供書にて実施できている。 <p>単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続支援を行った eGFR30以下の患者数</td> <td>119</td> <td>60</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>うちCKD手帳の利用者数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち腎臓内科受診者数</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>うち透析導入患者数</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援内容：検査記録の記載、生活状況の確認と改善のアドバイス、透析への準備教育</p>	項目／年度	R3	R4	R5	東濃地域脳卒中地域連携パス	0	0	0	飛騨地域がん地域連携クリニカルパス	0	0	1	項目／年度	R3	R4	R5	継続支援を行った eGFR30以下の患者数	119	60	93	うちCKD手帳の利用者数	7	1	0	うち腎臓内科受診者数	2	6	6	うち透析導入患者数	2	6	6		
項目／年度	R3	R4	R5																																		
東濃地域脳卒中地域連携パス	0	0	0																																		
飛騨地域がん地域連携クリニカルパス	0	0	1																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																		
継続支援を行った eGFR30以下の患者数	119	60	93																																		
うちCKD手帳の利用者数	7	1	0																																		
うち腎臓内科受診者数	2	6	6																																		
うち透析導入患者数	2	6	6																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
	<p>3 疾病予防の推進</p> <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p>		<p>3 疾病予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導を計画し、後日指導を行う。 ・血圧手帳、糖尿病手帳、慢性腎不全手帳の記入を促し、生活指導を行い、自己管理能力を高める。 <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <p>○ ケア会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅復帰に向けて、本人や家族・リハビリテーション技師・医師・訪問看護師・施設担当者・退院調整看護師・担当看護師が、リハビリテーションの実施など個別のケースに応じた検討を行った。 ・退院調整業務は、本人・家族の思いを尊重しながら実施することに重点を置いて取り組んだ。 <p>会議等開催状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 791 1731 860"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケア会議</td> <td>128</td> <td>157</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2年度から新型コロナウイルス感染症対策による面会制限等による</p> <p>○ 訪問看護ステーションとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、認定看護師による訪問看護を除いて実施できていない。対象者が少ない現状ではあるが、今後も継続した看護の提供のため、訪問看護師と協力しながら指導の充実を図る。 <p>訪問看護ステーション連携状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 1171 1776 1275"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護同行訪問数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>退院後訪問指導数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、認定看護師による計画的な訪問看護を実施している。 	項目/年度	R3	R4	R5	ケア会議	128	157	114	項目/年度	R3	R4	R5	訪問看護同行訪問数	0	0	0	退院後訪問指導数	0	0	0		
項目/年度	R3	R4	R5																						
ケア会議	128	157	114																						
項目/年度	R3	R4	R5																						
訪問看護同行訪問数	0	0	0																						
退院後訪問指導数	0	0	0																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
			<p>訪問看護・指導実施件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 292 1774 395"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 多職種連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下呂市主催の「在宅医療・介護連携推進会議」に参加した。(2月22日：2人) ・ 下呂市主催のACP 講演会「多職種連携による医療・介護の輪」に参加した。(3月28日：2人) ・ 下呂市主催の「福祉的な移動サービスに係る関係者意見交換会」に参加。透析患者の通院について検討した。(8月30日：2人) ・ 当院主催の「連携会議(下呂市、在宅介護支援事業者参加)」を実施。療養病棟開設について説明し、退院調整について検討を行った。(9月22日：12人) ・ ケアサポート会議で、ALS患者のケースカンファレンスを実施。受け入れ体制、サポート体制について、下呂市包括支援センター、訪問看護ステーション虹、飛騨保健所、金山病院と情報共有を行った。(3月26日：2人) <p>○ 診療報酬算定への取組(算定件数) 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 991 1774 1129"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援連携指導料</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>退院時共同指導料</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>入退院支援加算1</td> <td>397</td> <td>435</td> <td>312</td> </tr> </tbody> </table> <p>※介護支援連携指導料：ケアマネージャーとの連携を評価 ※退院時共同指導料：退院時に地域医療機関との連携を評価 ※退院支援加算2：H28年4月から開始。 ※入退院支援加算1：R1年6月から開始(加算2より変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院時支援の質向上を目指し、入院時支援加算1の算定に向け取り組んできたが、要件が満たされず算定には至っていない。人員配置を行い、算定に向けて継続して取り組む。 	項目/年度	R3	R4	R5	緩和ケア(退院後指導)	3	0	2	褥瘡ケア	1	4	9	項目/年度	R3	R4	R5	介護支援連携指導料	14	10	18	退院時共同指導料	6	0	11	入退院支援加算1	397	435	312		
項目/年度	R3	R4	R5																														
緩和ケア(退院後指導)	3	0	2																														
褥瘡ケア	1	4	9																														
項目/年度	R3	R4	R5																														
介護支援連携指導料	14	10	18																														
退院時共同指導料	6	0	11																														
入退院支援加算1	397	435	312																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実</p> <p>2 へき地医療の拠点的機能の充実</p> <p>3 リハビリテーションの推進</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として軽症・中等症患者の受入れのための専用病床を確保（最大 62 床、5 類感染症移行後は最大 20 床）し、新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れた。 <p>新型コロナウイルス感染症患者受入実績【No. 1 再掲】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226</td> <td>338</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288</td> <td>626</td> <td>760</td> </tr> </tbody> </table> <p>※累計患者数は、受入開始（R2 年度）以後の累計患者数 ※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱外来を開設し、PCR検査を 475 件、抗原検査を 2,481 件実施した。 下呂市と協力し、住民に対するワクチン接種を毎週火曜日（小児科）及び金曜日（内科）に実施した。 （12 歳以上のべ 351 人、12 歳未満のべ 41 人） 院内での集団ワクチン接種を 80 人に実施した。 <p>2 へき地医療の拠点的機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。 前年度に引き続き、下呂市が実施する産婦支援事業（産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業）に協力した。また、下呂市から引き続き乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期から、乳幼児期の支援体制づくりに寄与した。 <p>○ 乳幼児健診等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 4か月児健診 13回、102人 1歳6か月健診及び歯科健診は、新型コロナウイルス感染症の予防対策により、別会場での実施となったため、当院での実施は中止している。 <p>3 リハビリテーションの推進</p>	項目／年度	R3	R4	R5	受入患者数	226	338	134	累計患者数	288	626	760		IV	<p>地域における妊娠、出産、子育て支援に対して、下呂市と協力して産前産後における支援の充実・強化を図っている。</p> <p>予防医療の推進については、全体的な受診者数は前年並みであったが、特定保健指導については、指導の必要性の説明を強化し、件数・収益ともに増加している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症重点医療機関として専用病床を確保し、対策の充実を図ったほか、発熱外来、住民に対するワクチン接種を実施した。</p> <p>在宅療養支援体制を構築及び推進し、病棟ごとの在宅復帰率の平均が8割以上を達成するなど、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
項目／年度	R3	R4	R5														
受入患者数	226	338	134														
累計患者数	288	626	760														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																		
	4 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進	<p>○ リハビリテーションの実施状況 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="562 284 1182 387"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>27,878</td> <td>26,754</td> <td>31,193</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>93,242 単位</td> <td>84,820 単位</td> <td>83,694 単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 各種認定資格等の取得を推進し、リハビリテーションの充実・早期離床の推進、及び退院後の生活を見据えた住環境整備等の指導に当たった。今年度はリハビリ退院前後の訪問指導を35件行った。</p> <p>認定資格等取得者数 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="562 608 1167 738"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸認定療法士</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>早期離床アドバイザー</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年度:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 計26人 ・認知症ケア専門士2人 ・終末期ケア専門士1人 ・認定褥瘡理学療法士1人 ・岐阜県糖尿病療養指導士1人 ※各年度末累計</p> <p>○ 疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションの実施 リハビリテーション患者実数 単位:人</p> <table border="1" data-bbox="562 943 1086 1074"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>22</td> <td>35</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <p>・今年度における在宅復帰率は、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟においては、施設基準に定める7割以上を達成した。</p> <p>病棟別在宅復帰率 単位:%</p> <table border="1" data-bbox="562 1390 1099 1422"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>回復期ハ</th> <th>地域包括ケア病棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	実人数	27,878	26,754	31,193	疾患別リハ実施数	93,242 単位	84,820 単位	83,694 単位	項目/年度	R3	R4	R5	呼吸認定療法士	4	4	4	早期離床アドバイザー	1	1	0	福祉住環境コーディネーター	19	20	18	項目/年度	R3	R4	R5	小児リハビリ	67	67	64	手外科リハビリ	22	35	57	心臓リハビリ	—	—	21	病棟	回復期ハ	地域包括ケア病棟						
項目/年度	R3	R4	R5																																																				
実人数	27,878	26,754	31,193																																																				
疾患別リハ実施数	93,242 単位	84,820 単位	83,694 単位																																																				
項目/年度	R3	R4	R5																																																				
呼吸認定療法士	4	4	4																																																				
早期離床アドバイザー	1	1	0																																																				
福祉住環境コーディネーター	19	20	18																																																				
項目/年度	R3	R4	R5																																																				
小児リハビリ	67	67	64																																																				
手外科リハビリ	22	35	57																																																				
心臓リハビリ	—	—	21																																																				
病棟	回復期ハ	地域包括ケア病棟																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
		<table border="1" data-bbox="562 252 1099 352"> <thead> <tr> <th></th> <th>ビリテーション 病棟</th> <th>東3階</th> <th>東4階</th> <th>西4階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復帰率</td> <td>92.5</td> <td>88.5</td> <td>87.9</td> <td>84.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東4階はR5年8月に療養病棟に移行したため、令和5年7月までの実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域連携運営部会を設置し、地域包括ケア病棟の運用、看取りに関すること、地域連携に関することについて協議している。今年度は部会を12回開催した。 ・ 施設における看取り支援については、現在は2施設と連携している。今年度の看取り希望者は20人、看取り対象者は15人であった。 ○ 地域連携室による地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の影響が緩和され、前年度と比較し、退院調整業務件数が増加した。 <p style="text-align: center;">退院調整業務件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="546 887 994 959"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,540</td> <td>12,109</td> <td>12,519</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性である独居や高齢者世帯の増加、認知症患者の増加等により施設入所を希望される患者・家族が増加してきている。また、転院相談の増加に伴い転院の入院件数（調整）も増加している。このような現状を踏まえながら、地域連携室の機能を強化し、在宅復帰、在宅療養への支援を引き続き行っていく。 ○ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の理解の深化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和部会では、ACPについて部内学習会を開催し、リビングウィル、DNAR、ACPについての理解を深めた。ACPの記録形式や書式作りを引き続き行っていく。 ○ 認定看護師など専門性の高い能力を活用した在宅療養支援の充実 		ビリテーション 病棟	東3階	東4階	西4階	復帰率	92.5	88.5	87.9	84.5	R3	R4	R5	9,540	12,109	12,519			
	ビリテーション 病棟	東3階	東4階	西4階																	
復帰率	92.5	88.5	87.9	84.5																	
R3	R4	R5																			
9,540	12,109	12,519																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
	5 地域性を踏まえた予防医療の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和ケア外来件数 院内1件、院外紹介9件 ・ ストーマ外来受診患者数 延べ152人 ・ 褥瘡外来受診患者数 延べ202人 ・ 排尿自立介入患者 患者数9人、ラウンド回数16件、算定件数16件、 退院後外来フォロー2人(22.2%) ・ 摂食機能療法算定 135人、3,017件 ・ 摂食嚥下支援カンファレンス 3人、19件 ・ 摂食嚥下評価入院受入 0件 <p>○ 訪問看護ステーションや施設との連携による在宅療養患者への支援</p> <p>【緩和ケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問看護師とは介入患者への支援を通じ、電話、メール、ケア会議等で連携している。 令和5年度連携：15件 <p>【ストーマ・創傷(褥瘡)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストーマ 令和5年度連携：54件 ・ 創傷(褥瘡) 令和5年度連携：38件 <ul style="list-style-type: none"> ・ オストメイト(ストーマ保有者)患者会との連携・勉強会について、施設入所や患者の死亡により対象者がいなくなったため、令和2年度以降は実施していない。 <p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、開始時期は例年どおり4月第2週目からとして、健診業務を進めた。 ・ 検査の内容については、前年度に引き続き、人間ドック等に係る肺機能検査の実施を見合わせていたが、協会けんぽ(全国健康保険協会)については、10月から実施を再開した。 ・ 受診者数については、1日ドックや企業健診等は増加したが、下呂市のがん検診等の減少により、全体として受診者数は0.2%程度減少した。 ・ 下呂市の健診については、平成26年度以降、当院で旧下呂町(6地区)の住民健診を実施し、平成28年度からは乳がん、前立腺 	<p>○ 下呂地域認知機能低下予防研究会 令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、やむなく研究会の開催を見合わせている。</p> <p>認知機能低下予防リハビリ研修(集団指導)</p> <table border="1" data-bbox="1211 1177 1785 1316"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実参加者数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加クラブ数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>予防リハビリ指導(院内個別指導)</p> <table border="1" data-bbox="1211 1385 1785 1417"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	実施回数	0	0	0	実参加者数	0	0	0	参加クラブ数	0	0	0	項目/年度	R3	R4	R5						
項目/年度	R3	R4	R5																										
実施回数	0	0	0																										
実参加者数	0	0	0																										
参加クラブ数	0	0	0																										
項目/年度	R3	R4	R5																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己評価	自己評価理由																																																																		
		<p>がん検診を受託するなど、健康診断受診率の向上と予防医療の推進を図っている。今年度のがん検診の受診件数については 3,205 件と、前年度 (2,822 件) と比較して増加した。</p> <p>総合健診センター受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,252</td> <td>1,259</td> <td>1,432</td> </tr> <tr> <td>1日+MR I</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td>2,051</td> <td>2,095</td> <td>2,087</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,957</td> <td>1,924</td> <td>1,556</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>542</td> <td>529</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>定期健診(下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)</td> <td>720</td> <td>634</td> <td>673</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>その他(企業健診他)</td> <td>774</td> <td>703</td> <td>809</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,384</td> <td>7,232</td> <td>7,215</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康診断収益の推移 単位：千円(税抜)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益金額</td> <td>104,990</td> <td>102,499</td> <td>110,761</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導について、当日の初回面談をスムーズに行うため、前日の情報収集により対象者を予測し、採血結果を優先的に出すとともに、指導の必要性の説明を強化した結果、前年度と比較して、全体の実施件数・収益ともに大幅に上昇した。 ・保険者別の特定保健指導実施率は、県警察職員を除き、前年度と比較して上昇している。教職員については、オンラインによる遠隔指導の実施により堅調に推移しており、協会けんぽ(全国健康保険協会)については、初回面談を積極的に行ったことで、2年連続で実施率が大幅に上昇した。 <p>特定保健指導実績 単位：件・千円(税抜)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>138</td> <td>153</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>2,482</td> <td>2,803</td> <td>3,927</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p>	項目/年度	R3	R4	R5	1日ドック	1,252	1,259	1,432	1日+MR I	43	46	37	生活習慣病予防健診	2,051	2,095	2,087	下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556	下呂市特定・すこやか健診	542	529	573	定期健診(下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)	720	634	673	下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48	その他(企業健診他)	774	703	809	合計	7,384	7,232	7,215	項目/年度	R3	R4	R5	収益金額	104,990	102,499	110,761	項目/年度	R3	R4	R5	実数	138	153	221	収益金額	2,482	2,803	3,927	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延べ実施数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	症例数	0	0	0	延べ実施数	0	0	0		
項目/年度	R3	R4	R5																																																																						
1日ドック	1,252	1,259	1,432																																																																						
1日+MR I	43	46	37																																																																						
生活習慣病予防健診	2,051	2,095	2,087																																																																						
下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556																																																																						
下呂市特定・すこやか健診	542	529	573																																																																						
定期健診(下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)	720	634	673																																																																						
下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48																																																																						
その他(企業健診他)	774	703	809																																																																						
合計	7,384	7,232	7,215																																																																						
項目/年度	R3	R4	R5																																																																						
収益金額	104,990	102,499	110,761																																																																						
項目/年度	R3	R4	R5																																																																						
実数	138	153	221																																																																						
収益金額	2,482	2,803	3,927																																																																						
症例数	0	0	0																																																																						
延べ実施数	0	0	0																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																												
		<p>特定保健指導実施率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県職員</td> <td>100</td> <td>90.9</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>県警察職員</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>77.8</td> <td>79.3</td> <td>81.8</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>35.0</td> <td>45.9</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>市町村職員</td> <td>75.0</td> <td>68.8</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 令和3年度から、協会けんぽ（全国健康保険協会）岐阜支部の「健診実施機関による未治療者への受診勧奨業務」の受託を開始した。この事業は生活習慣病予防健診において、血圧・血糖・脂質検査の結果、要治療と判定されながら、医療機関を受診していない未治療者に対して医療機関への受診を勧奨し、生活習慣病の重症化を防止することなどを目的とするものであり、健診センターとしても積極的に取り組んでいる。今度は勧奨件数、収益金額ともに前年度を大きく上回った。</p> <p>未治療者に対する受診勧奨 単位：件・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨件数</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>58</td> <td>80</td> <td>135</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p> <p>検査別受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MRI</td> <td>111</td> <td>94</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>腹部CT</td> <td>107</td> <td>102</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>全身MRI・CT</td> <td>39</td> <td>22</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>大腸CT</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>もの忘れドック</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>374</td> <td>317</td> <td>311</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 下呂市歯科健診・検診受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	県職員	100	90.9	93.3	県警察職員	100	100	83.3	教職員	77.8	79.3	81.8	協会けんぽ	35.0	45.9	68.8	市町村職員	75.0	68.8	85.0	項目/年度	R3	R4	R5	受診勧奨件数	35	36	61	収益金額	58	80	135	項目/年度	R3	R4	R5	脳MRI	111	94	119	胸部CT	107	96	86	腹部CT	107	102	84	全身MRI・CT	39	22	19	大腸CT	0	0	1	もの忘れドック	10	3	2	計	374	317	311	項目/年度	R3	R4	R5							
項目/年度	R3	R4	R5																																																																														
県職員	100	90.9	93.3																																																																														
県警察職員	100	100	83.3																																																																														
教職員	77.8	79.3	81.8																																																																														
協会けんぽ	35.0	45.9	68.8																																																																														
市町村職員	75.0	68.8	85.0																																																																														
項目/年度	R3	R4	R5																																																																														
受診勧奨件数	35	36	61																																																																														
収益金額	58	80	135																																																																														
項目/年度	R3	R4	R5																																																																														
脳MRI	111	94	119																																																																														
胸部CT	107	96	86																																																																														
腹部CT	107	102	84																																																																														
全身MRI・CT	39	22	19																																																																														
大腸CT	0	0	1																																																																														
もの忘れドック	10	3	2																																																																														
計	374	317	311																																																																														
項目/年度	R3	R4	R5																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																												
		<table border="1"> <tr> <td>ぎふ・さわやか口腔健診</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>妊婦歯科検診</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>6 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>○ 地域包括ケア病棟・療養病棟</p> <p>・ 病床機能の役割分担として、8月に地域包括ケア病棟3棟の内、東4階病棟を療養病棟に移行し、地域包括ケア病棟66床、療養病棟38床の運用に切り替えた。療養病棟の開設により在宅療養支援の期間に余裕が生まれ、在宅復帰への推進が図れている。</p> <p>地域包括ケア病棟の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">病棟名・区分/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">東4階</td> <td>延べ患者数</td> <td>4,087</td> <td>4,391</td> <td>4,872</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>29.5%</td> <td>31.7%</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>78.3%</td> <td>65.5%</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>15.5</td> <td>13.9</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">西4階</td> <td>延べ患者数</td> <td>7,922</td> <td>7,920</td> <td>9,017</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>57.1%</td> <td>57.1%</td> <td>64.8%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>84.5%</td> <td>78.1%</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>33.4</td> <td>30.8</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">東3階</td> <td>延べ患者数</td> <td>5,522</td> <td>5,717</td> <td>6,352</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>54.0%</td> <td>55.9%</td> <td>62.0%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>84.1%</td> <td>87.2%</td> <td>88.3%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>20.1</td> <td>21.0</td> <td>14.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東4階病棟は、R2年10月からR5年5月7日まで新型コロナウイルス感染症病床として、R5年8月からは療養病棟として稼働</p> <p>※在宅復帰率は6ヶ月平均の3月末値</p> <p>○ 継続看護連絡会議</p> <p>・ 今年度は退院調整フローチャートの見直しを行い、外来で継続看護が必要な患者についての会議を開催することとし、前年度と比較して会議実施件数が増加した。今後も継続して取り組む。</p> <p>会議実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ぎふ・さわやか口腔健診	1	10	11	歯周疾患検診	2	5	2	妊婦歯科検診	4	0	5	病棟名・区分/年度		R3	R4	R5	東4階	延べ患者数	4,087	4,391	4,872	病床利用率	29.5%	31.7%	35.0%	在宅復帰率	78.3%	65.5%	80.0%	平均在院日数	15.5	13.9	49.6	西4階	延べ患者数	7,922	7,920	9,017	病床利用率	57.1%	57.1%	64.8%	在宅復帰率	84.5%	78.1%	82.7%	平均在院日数	33.4	30.8	22.2	東3階	延べ患者数	5,522	5,717	6,352	病床利用率	54.0%	55.9%	62.0%	在宅復帰率	84.1%	87.2%	88.3%	平均在院日数	20.1	21.0	14.3	項目/年度	R3	R4	R5							
ぎふ・さわやか口腔健診	1	10	11																																																																														
歯周疾患検診	2	5	2																																																																														
妊婦歯科検診	4	0	5																																																																														
病棟名・区分/年度		R3	R4	R5																																																																													
東4階	延べ患者数	4,087	4,391	4,872																																																																													
	病床利用率	29.5%	31.7%	35.0%																																																																													
	在宅復帰率	78.3%	65.5%	80.0%																																																																													
	平均在院日数	15.5	13.9	49.6																																																																													
西4階	延べ患者数	7,922	7,920	9,017																																																																													
	病床利用率	57.1%	57.1%	64.8%																																																																													
	在宅復帰率	84.5%	78.1%	82.7%																																																																													
	平均在院日数	33.4	30.8	22.2																																																																													
東3階	延べ患者数	5,522	5,717	6,352																																																																													
	病床利用率	54.0%	55.9%	62.0%																																																																													
	在宅復帰率	84.1%	87.2%	88.3%																																																																													
	平均在院日数	20.1	21.0	14.3																																																																													
項目/年度	R3	R4	R5																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																						
		<table border="1"> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>54</td> <td>43</td> <td>54</td> </tr> </table> <p>○ 介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 皮膚・排泄ケア認定看護師が、メール、電話、手紙などによる相談に対応した（92件）。また、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。 <p>褥瘡ケア指導件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>33</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 外来継続用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来部門では、「外来継続用紙」を基に患者情報を共有し、継続看護が必要な患者に対して、生活指導を行うことができた。 コロナ禍での受診控えや、認知症が進行し容姿が悪くなった、施設に入ったなどの理由により、対象者が減少している。 外来看護師による在宅療養に係る指導等を実施し、指導料等を算定した。 <p>①在宅療養指導料 279件（全て外来） ②在宅自己注射指導管理料 453件（外来436、入院中17） ③ストーマ処置 218件（全て外来） ④寝たきり管理料 70件（外来46、入院中24） ⑤がん患者指導料（口） 46件（外来3、入院中43）</p> <p>○ 在宅患者訪問看護・指導（専門性の高い訪問看護実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、計画的な訪問看護を実施している。【No.4再掲】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 周産期医療の推進</p> <p>地域における妊娠、出産、子育て支援に対して、下呂市と協力して、産前産後における支援の充実・強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂市と連携し、産婦支援事業（妊婦健診助成事業、産後ケア、 	継続看護連絡会議	54	43	54	R3	R4	R5	27	33	41	項目/年度	R3	R4	R5	緩和ケア(退院後指導)	3	0	2	褥瘡ケア	1	4	9			
継続看護連絡会議	54	43	54																								
R3	R4	R5																									
27	33	41																									
項目/年度	R3	R4	R5																								
緩和ケア(退院後指導)	3	0	2																								
褥瘡ケア	1	4	9																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		母乳育児支援事業) の会議を年 1 回実施している。また、下呂市を通じて、妊産婦に対する相談を随時受け付けている。 ・産後 2 週間、4 週間健診の実施 ・ハイリスク母子に対する保健師・地域担当者による連携支援 ・「母と子の健康サポート支援事業」連携件数：3 件 ・産後ケア事業「宿泊型」の利用：3 件			

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

看護師の再就職支援者研修の実績 (●)

- 看護協会主催の再就職支援者研修実施病院の登録は継続し、研修会の実施を 2 回計画したものの、応募者がいなかったため実施しなかった。引き続き実施できるように務める。

コメディカル等の医療従事者の確保 (●)

- 薬剤師の欠員 (2 人) が充足できていない状態が続いていることについて、令和 5 年度は次のような取組を行った。
 - ・ 病院のホームページにおいて、薬剤師の業務紹介や病院見学受入れなどについて、情報発信を行っている。
 - ・ 採用試験の募集要項を、日本病院薬剤師会や岐阜県病院薬剤師会のホームページに掲載し PR を行った。また、薬学部のある全国の大学へ募集要項を送付した。
 - ・ 岐阜薬科大学へ薬剤師募集の案内をした。

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び飛騨圏域南部の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>・ 薬剤部・事務局（契約締結、収入・研究予算管理）で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより、受託件数の増加を促している。</p> <p style="text-align: right;">受託実績 ※契約締結数 単位：件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目/年度</th> <th style="text-align: center;">R3</th> <th style="text-align: center;">R4</th> <th style="text-align: center;">R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">使用成績調査</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特定使用成績調査</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	使用成績調査	0	1	1	特定使用成績調査	0	1	1	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	R3	R4	R5														
使用成績調査	0	1	1														
特定使用成績調査	0	1	1														
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p>		<p>1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用 院内の医療従事者等の依頼に基づき、以下のデータ出力を行い、各種医療データの活用を図った。</p> <p>【週次処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重症度、医療・看護必要度確認リスト <p>【月次処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重症度、医療・看護必要度確認リスト ・ 重症度短期除外患者 ・ 退院支援計画書立上げ件数報告 ・ 薬剤使用量 ・ 褥瘡・看護診断リスト ・ 病棟別看護診断名称集計 ・ 死亡退院患者一覧 ・ 放射線画像レポート等既読確認 ・ 急性期退院先リスト ・ セコムスマッシュデータアップ 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。												

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
	2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用		<ul style="list-style-type: none"> ・ 後発医薬品使用体制加算報告 ・ 包括病棟入院経路 ・ 放射線患者・VSRAD 一覧 <p>【年次処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内科救急症例一覧 ・ 病床機能報告 ・ 循環器疾患診療実態調査 ・ 施設基準に係る手術一覧 ・ 外科手術症例報告 ・ 歯科口腔外科受診症例報告 ・ 医療機能情報提供制度における定期報告 <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各々の症例に関して、カンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い、成績の向上に努めた。 ・ 各研究機関等が運営している医療情報データベースに参加し、症例の登録を行うとともに、データの活用と分析を進めている。 <p>医療情報データベース等への症例登録状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1232 922 1767 1059"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NCD (外科)</td> <td>104</td> <td>97</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>JND (脳外科)</td> <td>147</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>171</td> <td>136</td> <td>138</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年報 47 号を発刊、業績・経営概要・論文等について令和 4 年度の実績をまとめ、関係機関等に配布した。 	項目/年度	R3	R4	R5	NCD (外科)	104	97	123	JND (脳外科)	147	—	—	全国がん登録	171	136	138		
項目/年度	R3	R4	R5																		
NCD (外科)	104	97	123																		
JND (脳外科)	147	—	—																		
全国がん登録	171	136	138																		

中期 目標	1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れ等、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。
	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの連携施設として、専攻医の育成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進</p> <p>2 専攻医の育成等</p>		<p>1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進 ・協力型の臨床研修病院として、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等から地域医療研修を行う臨床研修医の受入れを行うとともに、基幹型の臨床研修病院として、計4人の臨床研修医について、研修を行った。</p> <p>【研修の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次研修医 2人 実施した研修科：内科12ヶ月、救急科6ヶ月、精神科2ヶ月、整形外科2ヶ月、産婦人科2ヶ月 ・2年次研修医 2人 実施した研修科：内科8ヶ月、産婦人科1ヶ月、地域医療2ヶ月、小児科2ヶ月、精神科1ヶ月、救急科7ヶ月、整形外科1ヶ月、麻酔科2か月 <p>初期臨床研修医数（各年3.31時点） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>うち当該年度の 新規採用数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4年度新規採用者の内1人は中途再開者（1年次）</p> <p>2 専攻医の育成等 ・岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドと</p>	項目/年度	R3	R4	R5	研修医数	4	4	4	うち当該年度の 新規採用数	2	2	2	IV	継続的に臨床研修医及び専攻医等の受入れを実施しており、特に臨床研修医の採用については、医師確保が困難な状況のなか、計画通りの確保ができており、進捗していると評価。
項目/年度	R3	R4	R5														
研修医数	4	4	4														
うち当該年度の 新規採用数	2	2	2														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																														
			<p>し、地域医療を担う医師の養成を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見学を希望する医学生 23 人に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。 ・ 平成 29 年度及び令和 3 年度に常勤職員として採用した初期臨床研修医 2 人については、それぞれ当院の内科医として引き続き勤務している。 ・ 専門研修プログラムの連携施設として、岐阜県総合医療センター等から、内科専攻医 4 人、小児科 2 人を受け入れた。 																																																																
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p>		<p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>○ 医学生の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>78</td> <td>71</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84</td> <td>76</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ コメディカル等の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療事務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	R3	R4	R5	0	0	0	項目／年度	R3	R4	R5	下呂看護専門学校	78	71	64	岐阜県立看護大学	6	4	4	その他	0	1	1	計	84	76	69	項目／年度	R3	R4	R5	理学療法士	11	7	6	作業療法士	4	0	2	言語聴覚士	0	0	0	薬剤師	0	1	1	管理栄養士	0	0	2	社会福祉士	0	0	0	医療事務	0	0	0	計	15	8	11	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。
R3	R4	R5																																																																	
0	0	0																																																																	
項目／年度	R3	R4	R5																																																																
下呂看護専門学校	78	71	64																																																																
岐阜県立看護大学	6	4	4																																																																
その他	0	1	1																																																																
計	84	76	69																																																																
項目／年度	R3	R4	R5																																																																
理学療法士	11	7	6																																																																
作業療法士	4	0	2																																																																
言語聴覚士	0	0	0																																																																
薬剤師	0	1	1																																																																
管理栄養士	0	0	2																																																																
社会福祉士	0	0	0																																																																
医療事務	0	0	0																																																																
計	15	8	11																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																		
	2 救急救命士の病院実習など地域 医療従事者への研修の実施及び充 実		<p>○ 特別支援学校生徒の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1238 284 1677 352"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 下呂市内中学生の体験受入れ ・市内の1 中学校から、将来医療に携わりたいと考えている生徒計2 人の職業体験を受け入れた。</p> <p>○ 弥富看護学校の見学実習について ・小児看護学実習1 人を受け入れた。</p> <p>○ 下呂看護専門学校への講師派遣 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1238 635 1753 812"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師、歯科医師</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の 実施及び充実</p> <p>○ 下呂市消防本部の救急救命士の病院実習受入実績 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1238 1002 1767 1214"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前教育実習</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>消防学校病院実習</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 下呂市消防本部との情報交換会 ・医療従事者と下呂市消防本部の救急救命士との情報交換 会を今年度は3 回実施し、搬送事例の症例検討などを行 い、知識の向上に寄与するとともに、相互理解の促進を 図った。</p>	R3	R4	R5	0	0	1	項目/年度	R3	R4	R5	医師、歯科医師	8	6	8	看護師	8	8	7	コメディカル	5	5	6	計	21	19	21	項目/年度	R3	R4	R5	就業前教育実習	2	0	2	再教育実習	27	26	24	薬剤投与実習	0	0	2	消防学校病院実習	0	0	0	計	29	26	28		
R3	R4	R5																																																					
0	0	1																																																					
項目/年度	R3	R4	R5																																																				
医師、歯科医師	8	6	8																																																				
看護師	8	8	7																																																				
コメディカル	5	5	6																																																				
計	21	19	21																																																				
項目/年度	R3	R4	R5																																																				
就業前教育実習	2	0	2																																																				
再教育実習	27	26	24																																																				
薬剤投与実習	0	0	2																																																				
消防学校病院実習	0	0	0																																																				
計	29	26	28																																																				

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実に図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、飛騨圏域南部の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。 へき地医療拠点病院として、代診医師の派遣や巡回診療などへき地診療所等への支援機能を充実させること。 また、岐阜大学医学部及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療に携わる医師の養成を図ること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を務めるなどしている。 ・ 二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。なお、令和3年度以降、コロナ禍対策のため、参加人数の抑制を行い、中津川市消防本部の隊員の参加は見合わせていたが、今年度からWebを利用することにより、下呂市の各消防署や中津川市消防本部の隊員のリモート参加ができるようになった。 ・ 岐阜県メディカルコントロール協議会飛騨支部の感染防止部会に感染管理認定看護師が参加し、共同して病院前救護における感染対策活動を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会議：2回（5月12日、11月24日） ・ 感染防止マニュアル改訂 ・ 下呂消防署のラウンド調査：10月16日 ・ 全国救急隊員シンポジウム共同発表：2月1日 <p>○ 高度医療機器の地域開業医等の共同利用状況 単位：件</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td style="text-align: center;">129</td> <td style="text-align: center;">131</td> <td style="text-align: center;">109</td> </tr> <tr> <td>C T</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	MR I	129	131	109	C T	35	17	19		III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	R3	R4	R5														
MR I	129	131	109														
C T	35	17	19														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																															
		<table border="1"> <tr> <td>心エコー</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>167</td> <td>148</td> <td>128</td> </tr> </table> <p>○ 開放型病床の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成 24 年度から開放型病床 5 床を運用しており、地域のかかりつけ医と当院の主治医と共同で治療を行うことにより、患者に対し安心した医療の提供が図られている。 <p>開放型病床利用実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (実人数)</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>407</td> <td>493</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p>	心エコー	1	0	0	頸動脈エコー	2	0	0	計	167	148	128	項目/年度	R3	R4	R5	利用者数 (実人数)	35	45	48	利用延べ人数	407	493	453	<p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <p>○ へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況</p> <p>診療所等派遣状況 (延べ日数) 単位：日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東白川村国保診療所</td> <td>外科</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">東白川村母子健康センター</td> <td>産婦人科</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	出向先	診療科	R3	R4	R5	東白川村国保診療所	外科	0	0	0	整形外科	0	0	0	東白川村母子健康センター	産婦人科	20	22	20	合計	20	22	20		
心エコー	1	0	0																																																	
頸動脈エコー	2	0	0																																																	
計	167	148	128																																																	
項目/年度	R3	R4	R5																																																	
利用者数 (実人数)	35	45	48																																																	
利用延べ人数	407	493	453																																																	
出向先	診療科	R3	R4	R5																																																
東白川村国保診療所	外科	0	0	0																																																
	整形外科	0	0	0																																																
東白川村母子健康センター	産婦人科	20	22	20																																																
	合計	20	22	20																																																
	3 地域医療に携わる医師の養成	<p>3 地域医療に携わる医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、前年度に引き続き下呂市のがん検診 																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																
		<p>等を受託し、へき地医療拠点病院として地域医療を支援した。</p> <p>○ 下呂市がん検診等の受診者数:【No.5再掲】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,957</td> <td>1,924</td> <td>1,556</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>542</td> <td>529</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556	下呂市特定・すこやか健診	542	529	573	下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48			
項目/年度	R3	R4	R5																		
下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556																		
下呂市特定・すこやか健診	542	529	573																		
下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48																		
11	※ 社会的な要請への協力		<p>・ 下呂市が実施する「障がい児療育支援事業」に対し、当院から専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的な要請に応えた。</p> <p>【派遣件数】 単位: 件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	R3	R4	R5	6	7	9	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。										
R3	R4	R5																			
6	7	9																			
12	<p>※ 保健医療情報の提供・発信</p> <p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p>		<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>○ 公開講座等の実施状況</p> <p>・ 前年度まで下呂市内の中学校へ助産師を派遣し、生命誕生と尊厳についての授業、妊婦体験、産道体験、赤ちゃんを抱く体験をする「命のふれあい講座」を開催してきたが、今年度より下呂地域のNPO 法人による開催に切り替わり、派遣を終了した。</p> <p>※以下の公開講座等については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、開催を見合わせた。</p> <p>マタニティーエクササイズ、ベビーマッサージ等、分娩準備クラス、摂食嚥下障害看護学習会、褥瘡対策研修会出前講座、褥瘡対策研修会市民講座、下呂オストメイトの会</p> <p>○ 感染症対策</p> <p>・ 地域施設での感染対策研修会を行った。</p> <p>・ 下呂市社会福祉協議会感染対策研修会 (11月30日)</p> <p>・ あさぎりサニーランド結核感染対策研修会 (3月11日)</p> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>○ 病院広報の状況</p>	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。																

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
			<p>・ 新型コロナウイルスの感染拡大や、経営状況の悪化、印刷経費の高騰から、広報誌の発行を見合わせている。</p> <p>○ 地域医師会等主催講演会への参加</p> <p>・ 地域医師会等主催の学術講演会等に当院医師・看護師等が講師、座長として参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。</p> <p>講師等で参加した回数・人数 単位：回・人</p> <table border="1" data-bbox="1220 550 1697 654"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生インターンシップ</p> <p>・ 今年度は4人を受け入れた。</p> <p>インターンシップ実施状況 単位：回・人</p> <table border="1" data-bbox="1220 821 1697 925"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ ふれあい看護体験</p> <p>・ 中学生、高校生を対象に年2回実施。新型コロナウイルス感染症予防のため、患者にふれあう体験は見合わせ、模擬業務体験を実施した。</p> <p>中学生対象：8月4日 高校生対象：8月18日</p> <p>看護体験参加人数 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1220 1252 1720 1356"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生対象</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>高校生対象</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	回数	4	6	14	人数	8	15	21	項目/年度	R3	R4	R5	実施回数	1	1	1	参加人数	1	6	4	項目/年度	R3	R4	R5	中学生対象	12	0	17	高校生対象	0	14	16		
項目/年度	R3	R4	R5																																						
回数	4	6	14																																						
人数	8	15	21																																						
項目/年度	R3	R4	R5																																						
実施回数	1	1	1																																						
参加人数	1	6	4																																						
項目/年度	R3	R4	R5																																						
中学生対象	12	0	17																																						
高校生対象	0	14	16																																						

中期 目標	<p>1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは飛騨圏域南部の医療救護活動の拠点機能を担うこと。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画（BCP）の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
13	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <p>2 原子力災害時における医療従事者派遣要請への対応</p>		<p>1 医療救護活動の拠点機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時には「岐阜県立下呂温泉病院災害対策マニュアル」により、不測の事態に対応できるよう体制を構築している。 ・ 下呂市消防本部と協力して防災訓練を実施し、消火活動や避難誘導等における各事項を検証した。併せて、消防計画における休日・夜間の活動体制を定着させ、火災発生時の対応について確認した。 <p>【防災訓練】</p> <p style="margin-left: 20px;">第1回訓練 4月 4日 参加者17人 第2回訓練 11月29日 参加者31人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院は、屋上ヘリポートや免震構造を備えているため、災害時の医療救護活動拠点として、更なる災害対応機能の充実に向け、引き続き体制整備等の検討を行った。 <p>2 原子力災害時における医療従事者派遣要請への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院移転に併せ、サーベイメータ（放射線測定器）を整備し、放射線身体汚染検査によるスクリーニングを行える体制を引き続き整えている。 ・ サーベイメータ（放射線測定器）の定期点検を行い、スクリーニング検査に対応できるよう確認した。 	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
14	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報バックアップシステムの適正管理		1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 ・令和2年7月に発生した豪雨災害を踏まえ、職員の安否情報を簡易かつ迅速に把握するため、前年度から安否確認サービスを導入した。今年度は同サービスを使用した安否状況確認訓練を6月20日に実施した。 2 診療情報バックアップシステムの適正管理 ・大規模災害時におけるデータ損失のリスクに対応するため、当院の電子カルテのバックアップを岐阜県立多治見病院に、また、岐阜県総合医療センター及び岐阜県立多治見病院の電子カルテバックアップは、当院のサーバ室内に平成27年度に設置し、診療情報のバックアップシステムを構築している。当院は令和4年1月から新システム稼働しており、新システムのバックアップは岐阜県総合医療センターへ設置している。	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。												
15	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟については、保健所、関連医療機関と連携・情報共有しながら全室個室の強みを生かし、フェーズに応じて最大62床(5類感染症移行後は最大20床)まで患者を受け入れる体制を整備し、飛騨圏域及び近隣圏域でクラスター感染した多くの入院患者に対応した。 新型コロナウイルス感染症患者受入実績【No.1再掲】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226</td> <td>338</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288</td> <td>626</td> <td>760</td> </tr> </tbody> </table> ※累計患者数は、受入開始(R2年度)以後の累計患者数 ※各年度末時点 ・発熱外来は外来CブロックとAブロックの感染症診察室をベースに、駐車場整備とスタッフ配置によって、他の外来患者と時間的分離・空間的分離を図った。 ・新型インフルエンザ等感染症対応の業務継続計画をもとに、院	項目／年度	R3	R4	R5	受入患者数	226	338	134	累計患者数	288	626	760		IV	新型コロナウイルスの感染拡大に備えて、全室個室等のメリットを活用し、引き続き、陽性患者の入院受入れや、検査体制の整備充実、発熱外来の設置、新型コロナウイルス感染症患者専用病床の確保など、特に進捗したと評価。
項目／年度	R3	R4	R5														
受入患者数	226	338	134														
累計患者数	288	626	760														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施	<p>内で対応してきた内容を踏まえた新型コロナウイルス感染症の業務継続計画案を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国や岐阜県から支給された個人防護具を有効に活用するため種類、数量を細かく在庫管理し、適正使用につなげるとともに、支給要望の照会に対応した。 ・ 新型コロナウイルス感染症関連補助金を活用してHEPAフィルター付空気清浄機を設置し、エアロゾル感染対策環境を整えた。 ・ 飛騨地域新型インフルエンザ等感染症対応訓練（11月27日）に参加した。 	<p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月に災害対策マニュアルを改正し、職員に周知を図った。 ・ 令和2年7月に発生した豪雨災害を踏まえ、職員の安否情報を簡易かつ迅速に把握するため、前年度から安否確認サービスを導入した。今年度は同サービスを使用した安否状況確認訓練を6月20日に実施した。【No. 14 再掲】 		

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 組織体制の充実	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ICT（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。 また、非常勤医師など常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの早期構築及び運用	人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の構築及び運用に努めること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。
	※ コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。

項目No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由						
16	※ 組織体制の充実 1 組織体制の充実 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進		1 組織体制の充実 ・引き続き経営企画部門を中心に病院の経営分析・改善等に努め、医師確保・病院経営改善等に取り組んだ。 ・経営状況を鑑み、職員に対し、経費削減の必要性に理解を求め、勤勉手当について、令和2年度から岐阜県職員と比較して0.5月分削減している。 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 ・アウトソーシングが導入可能な定期的な業務について検討したほか、外部に委託した全ての委託事業について見直しを行った。 業務委託件数 単位：件 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>66</td> <td>61</td> <td>63</td> </tr> </table>	R3	R4	R5	66	61	63	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。
R3	R4	R5									
66	61	63									

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
	3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実		3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 ・ 人事給与システム・旅費システム等を活用し、事務の合理化を引き続き進めた。								
17	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 ○ 柔軟な勤務配置 ・ 看護部では、状況に応じたタイムリーな支援体制を構築し、入院患者数や看護必要度を把握し、支援の必要状況の周知を行った。 ・ 看護師の中途退職や休職等により人員不足の状態であったが、部署間の支援を柔軟に行い、その結果、1人当たりの時間外勤務時間（年間平均）を0.5時間短縮することができた。 全部署の支援時間数 単位：時間 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,730.1</td> <td>4,040.7</td> <td>3,639.5</td> </tr> </tbody> </table> ○ 病棟薬剤業務実施加算(●) ・ 薬剤師に係る欠員充当が実施できず、病棟毎に担当者を配置できない状況が続いており、加算の取得に至っていない。今後も欠員を充当し、加算を取得することを目指す。 2 効果的な体制による医療の提供 ○ 多様な勤務形態の非常勤職員の活用 ・ 看護部では看護協会WLB（仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取組）の推進を受けて、働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。 ・ 退職後、非常勤職員として再雇用した看護師の勤務時間の希望を聞き、時間に見合った部署に配置した。 ・ 医師事務作業補助者(医療クラーク)については、計画的	R3	R4	R5	3,730.1	4,040.7	3,639.5	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。
R3	R4	R5									
3,730.1	4,040.7	3,639.5									

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
			<p>な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。 医師事務作業補助体制加算 25 対 1</p> <p>○ 医事業務専門職の増員による受付業務等の直営化 ・平成 27 年度以降、外来受付と診断書受付等業務を直営化し、効率的な業務遂行を図っている。</p> <p>医師事務作業補助者数ほか(各年度 3. 31 時点) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>医療ケア業務専門職</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R3	R4	R5	医師事務作業補助者	8	8	8	医療ケア業務専門職	25	25	24		
項目／年度	R3	R4	R5														
医師事務作業補助者	8	8	8														
医療ケア業務専門職	25	25	24														
18	※ 人事評価システムの早期構築及び運用		<p>・意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成 28 年度から、事務局非常勤職員に対する人事評価の本格施行及び事務局常勤職員に対する試行を行っている。平成 29 年度から、事務局常勤職員に加え、メディカル職員に対しても年間を通した人事評価（試行）を行っている。今年度も引き続き人事評価（試行）を継続実施し、人事評価制度の構築に向けて取り組んだ。</p> <p>・看護部においては、引き続きクリニカルラダー評価により、昇格・昇任・特別昇給を実施した。</p> <p>・非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評価後に師長・部長等面接を行うことにより、意欲向上に努めた。組織が望む能力を示したことで、各自が振り返り、教育への希望や業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。</p>	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。												
19	※ 事務部門の専門性の向上 事務部門職員の確保及び育成		<p>○ 事務部門職員の確保及び育成</p> <p>【医事課職員】</p> <p>・ 診療報酬に係る研修 (2 回) 全職員対象</p> <p>【総務課・経営企画課職員】</p> <p>・ 甲種防火管理新規講習 1 人 ・ 県公安委員会主催責任者講習 (選任時講習) 1 人 ・ 障害者職業生活相談員資格認定講習 1 人</p>	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。												

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
			事務職員の状況（各年度 3. 31 時点） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	プロパー	19	20	20	県派遣	5	5	5	計	24	25	25		
項目/年度	R3	R4	R5																		
プロパー	19	20	20																		
県派遣	5	5	5																		
計	24	25	25																		
20	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 業務執行におけるコンプライアンスの徹底		○ 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 ・医療情報の情報開示については、診療情報の提供に関する指針に基づき、適切な対応を行った。 ・定期的実施される監事監査及び内部監査の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスの遵守を徹底した。	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。																
21	※ 適切な情報管理 1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 2 情報セキュリティに対する意識向上		1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・令和4年1月の医療総合情報システム稼働と共に、IT資産管理システムが稼働した。 ・情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティ運用管理指針を施行、運用している。 2 情報セキュリティに対する意識向上 ・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施した。	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。																

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

病棟薬剤業務実施加算 (●)

- 各病棟に薬剤師を配置し薬剤管理指導業務を含めた業務を展開している。また、担当薬剤師によるカンファレンスなどを行い資質向上にも努めている。しかし、薬剤師の欠員補充ができず急性期病棟に週 20 時間薬剤師を配置することができず、実施加算の算定要件を満たさないため実施できない。引き続き人員の確保に努める。

中期 目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <p>※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。</p> <p>※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、人間ドックや健康診断等の積極的な受入れ、未収金の発生防止や早期回収により収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。</p> <p>※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
22	<p>※ 多様な契約手法の導入</p> <p>1 調達効率化及び適正な契約事務の実施</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門長及び実施業者と内容及び必要性を精査しつつ、保守委託契約とスポット保守の比較検討を進めた。 ・ 引き続き、比較・分析を継続の上、複数年契約等も含めた有利な契約方針を決定していく必要がある。 ・ 電気需給契約について、燃料費単価は急激に上昇したが、国及び電力会社の負担軽減策等により、前年度より減少した。 <p style="text-align: center;">単位：千円（税込）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td style="text-align: center;">71,400</td> <td style="text-align: center;">126,846</td> <td style="text-align: center;">99,564</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、前年度に引き続き、内容及び必要性を精査し、スポット契約への切り換え等により経費削減に努めている。 ・ 次の維持管理業務については、3年間の複数年契約を締結しており、引き続き経費の節減に努めている。 警備業務、機械、監視室等保安全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務、給食業務、臨床検査業務 	項目／年度	R3	R4	R5	電気料金	71,400	126,846	99,564		III	医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、業務内容を精査し、複数年契約業務も含めてスポット契約に切り換える等内容を見直し、経費削減を図っているが、項目全体としては、平年並みの実績と評価。
項目／年度	R3	R4	R5										
電気料金	71,400	126,846	99,564										
23	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効率的な病床管理及び医療機器の効果的な活用</p>		<p>1 効率的な病床管理及び医療機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう、病床管理の徹底を引き続き実施し 	III	外来収益は減少したが、入院収益の増益、療養病棟の開設、人間ドックの着実な実施により、平年並みの実								

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																								
			<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域包括ケア病棟」については、令和2年度中盤から1棟を新型コロナウイルス感染症の専用病床としていたが、5月に地域包括ケア病棟としての運用を再開した。週2回定例転棟会議を実施するとともに、急性期病棟の稼働状況に合わせて臨時の転棟会議を実施するなど、効率的な運用を行った。 令和5年度8月から、地域包括ケア病棟の1棟38床を「療養病棟」に切り替えた。急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期病棟、療養病棟の各機能をうまく連携させ、急性期から在宅復帰までの一貫した医療を提供していく。 <p>病床利用率 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東5階</td> <td>58.8</td> <td>57.1</td> <td>50.7</td> </tr> <tr> <td>西5階</td> <td>65.5</td> <td>62.0</td> <td>63.2</td> </tr> <tr> <td>東4階(療養)</td> <td>29.5</td> <td>31.7</td> <td>35.0</td> </tr> <tr> <td>西4階(包括ケア)</td> <td>57.1</td> <td>57.1</td> <td>64.8</td> </tr> <tr> <td>東3階(包括ケア)</td> <td>54.0</td> <td>55.9</td> <td>62.0</td> </tr> <tr> <td>西3階(回復期)</td> <td>80.7</td> <td>73.9</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>56.4</td> <td>55.3</td> <td>58.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※届出病床数206床 ※東4階：H26.9～ 地域包括ケア病棟移行 ※西4階：H28.3～ 地域包括ケア病棟移行 ※東3階：H30.10～ 地域包括ケア病棟移行 ※東4階：R2.10～ 新型コロナウイルス感染症専用病棟(特例期間) ※東4階：R5.8～ 療養病棟移行</p> <p>その他の指標 (単位 収益:千円、単価:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>42,425</td> <td>41,561</td> <td>43,862</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>116.2</td> <td>113.9</td> <td>119.8</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>16.0</td> <td>15.1</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>1,687,892</td> <td>1,730,408</td> <td>1,736,953</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>39,785</td> <td>41,635</td> <td>39,600</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R3	R4	R5	東5階	58.8	57.1	50.7	西5階	65.5	62.0	63.2	東4階(療養)	29.5	31.7	35.0	西4階(包括ケア)	57.1	57.1	64.8	東3階(包括ケア)	54.0	55.9	62.0	西3階(回復期)	80.7	73.9	81.9	全体	56.4	55.3	58.2	項目／年度	R3	R4	R5	入院延患者数	42,425	41,561	43,862	1日平均入院患者数	116.2	113.9	119.8	平均在院日数	16.0	15.1	13.2	入院収益	1,687,892	1,730,408	1,736,953	入院診療単価	39,785	41,635	39,600		績と評価。
項目／年度	R3	R4	R5																																																										
東5階	58.8	57.1	50.7																																																										
西5階	65.5	62.0	63.2																																																										
東4階(療養)	29.5	31.7	35.0																																																										
西4階(包括ケア)	57.1	57.1	64.8																																																										
東3階(包括ケア)	54.0	55.9	62.0																																																										
西3階(回復期)	80.7	73.9	81.9																																																										
全体	56.4	55.3	58.2																																																										
項目／年度	R3	R4	R5																																																										
入院延患者数	42,425	41,561	43,862																																																										
1日平均入院患者数	116.2	113.9	119.8																																																										
平均在院日数	16.0	15.1	13.2																																																										
入院収益	1,687,892	1,730,408	1,736,953																																																										
入院診療単価	39,785	41,635	39,600																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由																																																				
	2 人間ドック等の着実な受入れ		<table border="1" data-bbox="1220 256 1792 469"> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>73,653</td> <td>62,482</td> <td>59,381</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>304.4</td> <td>257.1</td> <td>244.4</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>923,378</td> <td>847,230</td> <td>779,720</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>12,537</td> <td>13,560</td> <td>13,131</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益(特別室)</td> <td>5,091</td> <td>3,810</td> <td>3,255</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>3,703</td> <td>3,384</td> <td>2,087</td> </tr> </table> <p data-bbox="1220 475 1780 496">※平均在院日数は急性期病棟より算出し、重症者・回復期病棟等を除く</p> <p data-bbox="1220 507 1377 528">※金額は税込で表示</p> <p data-bbox="1205 568 1525 588">2 人間ドック等の着実な受入れ</p> <ul data-bbox="1205 600 1780 783" style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、人間ドック等の着実な実施に努めた。 ・受診者数については全体として堅調に推移し、1日ドックについては前年度を上回ることができた一方で、下呂市がん検診については大きく減少した。 <p data-bbox="1240 820 1765 841">1日ドック 受診者数 【No.5再掲】 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1225 847 1765 946"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,252</td> <td>1,259</td> <td>1,432</td> </tr> <tr> <td>1日ドック+MR I</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1220 979 1771 1000">下呂市がん検診等 受診者数 【No.5再掲】 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="1225 1007 1765 1139"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,957</td> <td>1,924</td> <td>1,556</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか検診</td> <td>542</td> <td>529</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>				外来延患者数	73,653	62,482	59,381	1日平均外来患者数	304.4	257.1	244.4	外来収益	923,378	847,230	779,720	外来診療単価	12,537	13,560	13,131	室料差額収益(特別室)	5,091	3,810	3,255	受託検査収益	3,703	3,384	2,087	項目/年度	R3	R4	R5	1日ドック	1,252	1,259	1,432	1日ドック+MR I	43	46	37	項目/年度	R3	R4	R5	下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556	下呂市特定・すこやか検診	542	529	573	下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48		
外来延患者数	73,653	62,482	59,381																																																									
1日平均外来患者数	304.4	257.1	244.4																																																									
外来収益	923,378	847,230	779,720																																																									
外来診療単価	12,537	13,560	13,131																																																									
室料差額収益(特別室)	5,091	3,810	3,255																																																									
受託検査収益	3,703	3,384	2,087																																																									
項目/年度	R3	R4	R5																																																									
1日ドック	1,252	1,259	1,432																																																									
1日ドック+MR I	43	46	37																																																									
項目/年度	R3	R4	R5																																																									
下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556																																																									
下呂市特定・すこやか検診	542	529	573																																																									
下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48																																																									
	3 未収金の発生防止対策等		<p data-bbox="1205 1217 1480 1238">3 未収金の発生防止対策等</p> <ul data-bbox="1205 1249 1780 1406" style="list-style-type: none"> ・未収金発生防止については、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度の利用等を勧めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなどして、公的制度的利用により患者に対する診療費の負担軽減に努め 																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
	4 医療資源を最大限活用した施設 基準等の適正管理		<p>た。また、コンビニ収納やクレジットカード支払いを導入し、患者の利便性を高めることで、未収金の発生防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生した未収金に対しては、早期から相談に乗り、分納制度や前述のコンビニ収納、クレジットカード支払い等を紹介し、支払いを行いやすい環境を整えた。また、電話や臨宅による催告を必要に応じて実施したほか、弁護士による未収金回収業務委託契約（成功報酬型）を締結し、回収困難な事例については弁護士を介しての未収金回収を行った。 <p>【参考】未収金の発生状況と未収額 単位：件・千円</p> <table border="1" data-bbox="1218 647 1700 754"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各年度件数</td> <td>283</td> <td>258</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>4,633</td> <td>4,225</td> <td>6,061</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額</p> <p>4 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 届出を行っている施設基準の一覧表を作成し、施設基準の適正管理を行うための体制整備を行った。 今年度は以下の施設基準の届出を行った。 <p><基本></p> <ul style="list-style-type: none"> 重傷者等療養環境特別加算（個室4→個室3） 令和5年4月1日変更 看護補助体制充実加算（地域包括ケア病棟入院料の注4） 令和5年7月1日取下げ 看護職員処遇改善評価料81 令和5年7月1日取得（評価料73からの変更） 療養病棟入院基本料（特別入院基本料）（東4階病棟） 令和5年8月1日取得（地域包括ケア病棟からの変更） 医師事務作業補助体制加算1（25対1） 令和5年9月1日取得（30対1からの上位変更） 療養病棟入院基本料1（東4階病棟） 令和5年11月1日取得（特別入院基本料からの変更） 療養病棟療養環境加算1（東4階病棟） 令和5年11月1日取得 	項目／年度	R3	R4	R5	各年度件数	283	258	205	未収金額	4,633	4,225	6,061		
項目／年度	R3	R4	R5														
各年度件数	283	258	205														
未収金額	4,633	4,225	6,061														

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
	5 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応		<ul style="list-style-type: none"> 看護職員処遇改善評価料 70 令和6年1月1日取得(評価料81からの変更) <p><特掲></p> <ul style="list-style-type: none"> 心大血管疾患リハビリテーション料 (I) 令和5年4月1日取得(IIからの上位変更) <p>5 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 次期診療報酬改定に向けて、内容の早期把握に努め、院内各部署と連携し、加算要件や施設基準の変更等に対応できるように取り組んだ。 4月に診療報酬改定対策部会と地域連携運営部会と統合して「診療報酬運営部会」とし、部会運営の効率化を図るとともに、適切な診療報酬算定と病棟運営が行えるよう検討を行っている。 																						
24	<p>※ 費用の削減</p> <p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <p>2 後発医薬品の使用促進</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮を進め、費用節減に努めたほか、より安価な物品の発掘など、類似物品の切り替えに努めた。 <p>○ 医薬収益に対する材料費比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>8.5</td> <td>8.3</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>6.9</td> <td>5.2</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>16.3</td> <td>14.4</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R3	R4	R5	薬品費	8.5	8.3	8.9	診療材料費	6.9	5.2	6.0	給食材料費	0.9	0.9	1.0	材料全体	16.3	14.4	16.0	<p>2 後発医薬品の使用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 先発医薬品からオーソライズドジェネリック薬への変更により、品目で1.8ptの増加、使用量ベースでは8.4ptの増加となった。引き続き、先発医薬品からオーソライ 	III	後発医薬品の採用比率の増は評価できるものの、平年並みの実績と評価。
項目	R3	R4	R5																						
薬品費	8.5	8.3	8.9																						
診療材料費	6.9	5.2	6.0																						
給食材料費	0.9	0.9	1.0																						
材料全体	16.3	14.4	16.0																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
	<p>3 人件費の適正化</p> <p>4 経営改善に向けた具体的取組に対する全職員の参画意識の醸成</p>		<p>ズドジェネリック薬への切り替えを中心に、効率的な後発品の採用を考慮していく。</p> <p>○ ジェネリック医薬品の採用比率 単位：%</p> <table border="1" data-bbox="1234 379 1758 485"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>10.1</td> <td>10.5</td> <td>12.3</td> </tr> <tr> <td>使用数量ベース</td> <td>45.9</td> <td>42.4</td> <td>50.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用数量ベース 後発医薬品 / (後発+先発医薬品)</p> <p>3 人件費の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部門長において職員の時間外勤務の管理を行い、毎月、時間外勤務が45時間を超過する見込みの職員を把握し、時間外勤務削減に務めた。 <p>4 経営改善に向けた具体的取組に対する全職員の参画意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回の管理会議において各部門長に経営概要(業務量、収支状況)を配付し、説明するとともに、院内掲示板「My Web」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、費用削減に努めた。 食材費について、食材メーカー、納入業者及び食材等の見直しを進めたが、食材費の高騰もあり、今年度は1日1人当たり650円以下を達成することができなかった。 <p>単位：円(税込)</p> <table border="1" data-bbox="1234 1074 1758 1139"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食材費/日・人</td> <td>642</td> <td>681</td> <td>716</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 事務事業の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から病院全体で事務事業の見直しに取り組むこととし、各部門等の個別事務に関する事務改善を行うため、各部門へ事業の見直しと経費削減検討項目の洗い出しについて照会、回答をまとめ、以降、継続的に検討を行っている。 <p>6 地域型保育事業への移行</p>	項目/年度	R3	R4	R5	品目ベース	10.1	10.5	12.3	使用数量ベース	45.9	42.4	50.8	項目/年度	R3	R4	R5	食材費/日・人	642	681	716		
項目/年度	R3	R4	R5																						
品目ベース	10.1	10.5	12.3																						
使用数量ベース	45.9	42.4	50.8																						
項目/年度	R3	R4	R5																						
食材費/日・人	642	681	716																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から地域型保育事業所へ移行したことに伴い、下呂市及び中津川市から「子ども・子育て支援保育給付金」を受領し、保育事業の費用負担軽減を図っている。 		

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	<p>※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標期間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め、人件費の適正化に努めるなど、中期目標期間の最終年度までに達成すること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
25	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を早期に達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率75%以下を達成する。	<p>【経常収支比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経常収支比率について、収支計画の設定比率83.0%に対して、決算では79.1%となり、計画を達成できなかった。 <p>【医業収支比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医業収支比率について、収支計画の設定比率85.1%に対して、決算では81.1%となり、計画を達成できなかった。 <p>【職員給与費対医業収益比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員給与費対医業収益比率について、収支計画の設定比率93.1%に対して、決算では109.4%となり、計画を達成できなかった。 <p>次年度以降、引き続き経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>1 予算に対する実績(予算執行状況) (単位:百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">計画額</th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td style="text-align: right;">4,187</td> <td style="text-align: right;">3,761</td> <td style="text-align: right;">▲426</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td style="text-align: right;">3,223</td> <td style="text-align: right;">2,674</td> <td style="text-align: right;">▲549</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">915</td> <td style="text-align: right;">947</td> <td style="text-align: right;">32</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td style="text-align: right;">49</td> <td style="text-align: right;">140</td> <td style="text-align: right;">91</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td style="text-align: right;">52</td> <td style="text-align: right;">64</td> <td style="text-align: right;">12</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td style="text-align: right;">39</td> <td style="text-align: right;">39</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	4,187	3,761	▲426	医業収益	3,223	2,674	▲549	運営費負担金収益	915	947	32	その他営業収益	49	140	91	営業外収益	52	64	12	運営費負担金収益	39	39	0		II	経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収益比率のいずれも計画を達成できず「II」と評価。
区 分	計画額	決算額	増減																																		
収入																																					
営業収益	4,187	3,761	▲426																																		
医業収益	3,223	2,674	▲549																																		
運営費負担金収益	915	947	32																																		
その他営業収益	49	140	91																																		
営業外収益	52	64	12																																		
運営費負担金収益	39	39	0																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況			その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由	
		その他営業外収益	13	25	12			
		資本収入	269	337	68			
		長期借入金	47	95	48			
		運営費負担金	209	193	▲16			
		その他資本収入	13	49	36			
		その他の収入	0	0	0			
		計	4,509	4,162	▲347			
		支出						
		営業費用	4,495	4,236	▲259			
		医業費用	4,226	3,993	▲233			
		給与費	2,732	2,698	▲34			
		材料費	561	468	▲93			
		経費	920	818	▲102			
		研究研修費	13	9	▲4			
		一般管理費	269	243	▲26			
		給与費	185	181	▲4			
		経費	84	62	▲22			
		営業外費用	68	68	▲0			
		資本支出	475	573	98			
		建設改良費	141	240	99			
		償還金	329	332	3			
		その他資本支出	4	1	▲3			
		その他の支出	0	0	0			
		計	5,038	4,877	▲161			
		※各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値が一致しないことがある。						
		2 収支計画に対する実績 (損益計算書) (単位：百万円)						
		区 分	計画額	決算額	増減			
		収益の部	4,225	3,804	▲421			
		営業収益	4,174	3,741	▲433			
		医業収益	3,210	2,660	▲550			
		運営費負担金収益	915	935	20			
		資産見返負債戻入	0	0	0			
		その他営業収益	48	145	97			
		営業外収益	52	63	11			

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況			その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由	
		運営費負担金収益	39	39	0			
		その他営業外収益	13	25	12			
		臨時利益	0	0	0			
		費用の部	5,090	4,807	▲283			
		営業費用	4,905	4,614	▲291			
		医業費用	4,634	4,357	▲277			
		給与費	2,802	2,721	▲81			
		材料費	511	425	▲86			
		経費	873	756	▲117			
		減価償却費	437	447	10			
		研究研修費	12	8	▲4			
		一般管理費	271	257	▲14			
		給与費	185	188	3			
		減価償却費	18	21	3			
		経費	68	47	▲21			
		営業外費用	185	192	7			
		臨時損失	0	0	0			
		予備費	0	0	0			
		純損益	▲865	▲1,003	▲138			
		目的積立金取崩額	0	0	0			
		総損益	▲865	▲1,003	▲138			
		※ 略						
		3 資金計画に対する実績						
		(単位：百万円)						
		区 分	計画額	決算額	増減			
		資金収入	6,649	6,494	▲155			
		業務活動による収入	4,239	3,922	▲317			
		診療業務による収入	3,223	2,848	▲375			
		運営費負担金による収入	954	986	32			
		その他の業務活動による収入	62	88	26			
		投資活動による収入	51	38	▲13			
		運営費負担金による収入	42	29	▲13			
		その他の投資活動による収入	9	9	0			
		財務活動による収入	215	259	44			
		長期借入による収入	47	95	48			
		その他の財務活動による収入	167	164	▲3			

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況			その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由	
		前事業年度からの繰越金	2,144	2,275	131			
		資金支出	6,649	6,494	▲155			
		業務活動による支出	4,563	4,342	▲221			
		給与費支出	2,917	2,920	3			
		材料費支出	561	469	▲92			
		その他の業務活動による支出	1,085	953	▲132			
		投資活動による支出	146	108	▲38			
		有形固定資産の取得による支出	141	101	▲40			
		その他の投資活動による支出	4	7	3			
		財務活動による支出	329	332	3			
		長期借入金の返済による支出	269	272	3			
		移前地が償還義務の償還による支出	60	60	0			
		その他財務活動による支出	0	0	0			
		翌事業年度への繰越金	1,611	1,712	101			
		※ 略						

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 5億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	出資等に係る不要財産又は出資等 に係る不要財産となることが見込ま れる財産がある場合には、当該財産 の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	重要な財産を譲渡し、又は担保に 供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	剰余金の使途		・ 該当なし	—	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、医師事務作業補助者の充実を図るなど、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
26	※ 職員の就労環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実		<p>1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別休暇や部分休業の利用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年1月に子育てや家族生活に必要な場合の特別休暇の取得条件を緩和し、今年度も引き続き休暇を取得しやすい環境づくりに努めた。 ・ 柔軟な勤務時間体制を推進し、今年度は一月あたり最大24人が育児部分休業を利用した。 ○ 院内保育所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児を持つ病院職員が働きやすい環境整備に努め、今年度は13人の託児を受け入れた。 ・ 平成24年6月から制度化された土曜保育は、病院職員の勤務体制確立の一役を担っている。 <p>院内保育所の運営状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	入所児童数	8	10	13	III	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	R3	R4	R5										
入所児童数	8	10	13										

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由										
	2 働き方改革の実現に向けた取組		<table border="1" data-bbox="1240 252 1720 284"> <tr> <td>保育士数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※各年度末時点</p> <p>2 働き方改革の実現に向けた取組</p> <p>○ 時間外勤務の縮減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師、コメディカル及び事務職員にタイムカードを導入し、労働時間の把握を行っている。 ・ 医師についてはICカードを導入し、勤怠管理を行っている。 <p>○ 年次有給休暇の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が年次有給休暇を取得しやすい環境を整備するよう努め、5日間の取得を促した。 <p>平均年休取得日数 単位：日</p> <table border="1" data-bbox="1240 703 1704 767"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.24</td> <td>12.44</td> <td>9.96</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 健康管理対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の健康管理の充実を図るため、定期健康診断、特殊健康診断、人間ドックを実施している。 <p>定期健康診断 受診数 224人 特殊健康診断（有機溶剤・特定化学物質） 受診数 4人 特殊健康診断（深夜業務・X線） 受診数 312人 人間ドック 受診数 174人</p> <p>※以上、常勤職員について記載 （人数は延べ、同時実施等で重複あり）</p> <p>○ ストレスチェック制度の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務化されたストレスチェック制度を平成30年度から開始し、メンタルヘルス不調の防止に努めた。 <p>○ ハラスメント研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場でのハラスメントを防止し、風通しの良い環境づくりを行うため、弁護士を講師に招き、ハラスメントと法律制度について学んだ。 <p>令和5年10月26日開催 参加職員 62人</p>	保育士数	5	5	5	R3	R4	R5	7.24	12.44	9.96		
保育士数	5	5	5												
R3	R4	R5													
7.24	12.44	9.96													

項目 No.	中期計画の取組項目	R5 年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																								
30	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<p>・ 岐阜県に対し負担する債務について、次のとおり償還を行った。</p> <p>○ 当期の償還状況 (移行前地方債償還債務) 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>107,938,360</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>59,598,270</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>48,340,090</td> </tr> </tbody> </table> <p>(長期借入金) 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>4,516,448,805</td> </tr> <tr> <td>当期借入額</td> <td>95,400,000</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>272,078,505</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>4,339,770,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 年度別の償還状況 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1期中期計画 期間(H22-26計)</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>934</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2期中期計画 期間(H27-R1計)</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>509</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>272</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	期首残高	107,938,360	当期償還額	59,598,270	期末残高	48,340,090	区 分	金 額	期首残高	4,516,448,805	当期借入額	95,400,000	当期償還額	272,078,505	期末残高	4,339,770,300	年度	実績	実績	第1期中期計画 期間(H22-26計)	移行前地方債償還債務	934	長期借入金償還額	62	第2期中期計画 期間(H27-R1計)	移行前地方債償還債務	341	長期借入金償還額	509	R1	移行前地方債償還債務	75	長期借入金償還額	181	R2	移行前地方債償還債務	78	長期借入金償還額	187	R3	移行前地方債償還債務	80	長期借入金償還額	190	R4	移行前地方債償還債務	57	長期借入金償還額	271	R5	移行前地方債償還債務	59	長期借入金償還額	272	III	岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にっており、平年並みの実績と評価。
区 分	金 額																																																												
期首残高	107,938,360																																																												
当期償還額	59,598,270																																																												
期末残高	48,340,090																																																												
区 分	金 額																																																												
期首残高	4,516,448,805																																																												
当期借入額	95,400,000																																																												
当期償還額	272,078,505																																																												
期末残高	4,339,770,300																																																												
年度	実績	実績																																																											
第1期中期計画 期間(H22-26計)	移行前地方債償還債務	934																																																											
	長期借入金償還額	62																																																											
第2期中期計画 期間(H27-R1計)	移行前地方債償還債務	341																																																											
	長期借入金償還額	509																																																											
R1	移行前地方債償還債務	75																																																											
	長期借入金償還額	181																																																											
R2	移行前地方債償還債務	78																																																											
	長期借入金償還額	187																																																											
R3	移行前地方債償還債務	80																																																											
	長期借入金償還額	190																																																											
R4	移行前地方債償還債務	57																																																											
	長期借入金償還額	271																																																											
R5	移行前地方債償還債務	59																																																											
	長期借入金償還額	272																																																											

